

関川村 上関地区 住民アンケート 分析レポート

～結果から何が見えてくるか？～

令和3年3月

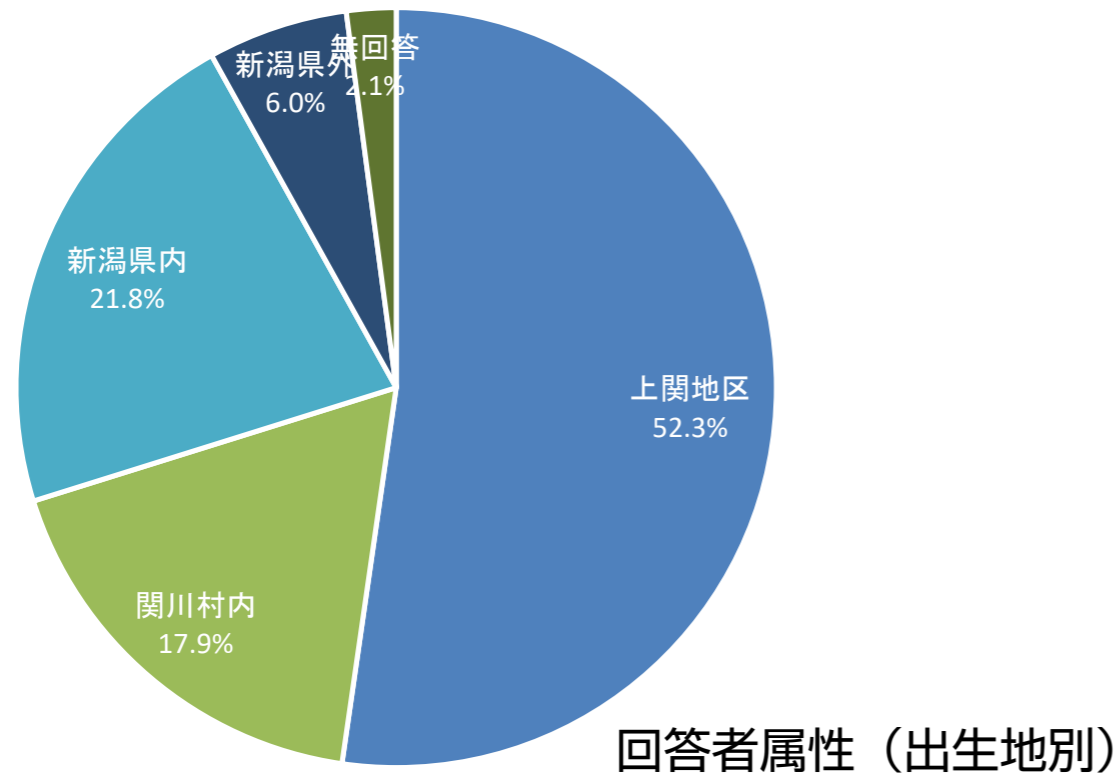
NPO法人 都岐沙羅パートナーズセンター

中学生以上の全住民アンケートの実施

配布数：386通

回収数：285通

回収率：**73.8%**



かなりの高回収率！



地域住民の意向が十分に反映されているデータである

上関地区 住民アンケート

- 本アンケートは、住民一人一人の考えを把握し、世代別・男女別に日頃思っている考え・意見を整理するため、中学生以上の方に対して行っています。
- 回答は無記名でお願いいたします。
- 回答の結果は、個人を特定しない形で集計・分析し、今後の地域づくりに役立てていきます。
- アンケート用紙は、一人ひとり提出していただきますので、家族で意見が違って構いません。思ったことをそのまま回答してください。

問1 あなたの年齢と性別について、あてはまるものに○をつけてください。

(年齢) 1. 10～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70～79歳 8. 80歳以上

(性別) 男性 ・ 女性

問2 あなたの生まれたところはどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 上関地区 2. 関川村内(上関地区を除く) 3. 新潟県内 4. 新潟県外

問3 あなたの仕事にあてはまるもの**すべてに**○をつけてください。

1. 農業 2. 林業 3. 漁業
4. 自営業 5. 会社員 6. 公務員・団体職員
7. パート・アルバイト 8. 専業主婦(夫) 9. 中学生
10. 高校生・高専生 11. 大学生・短大生・専門学校生
12. その他() 13. 無職

※学生及び仕事されている方は、以下もお答えください。

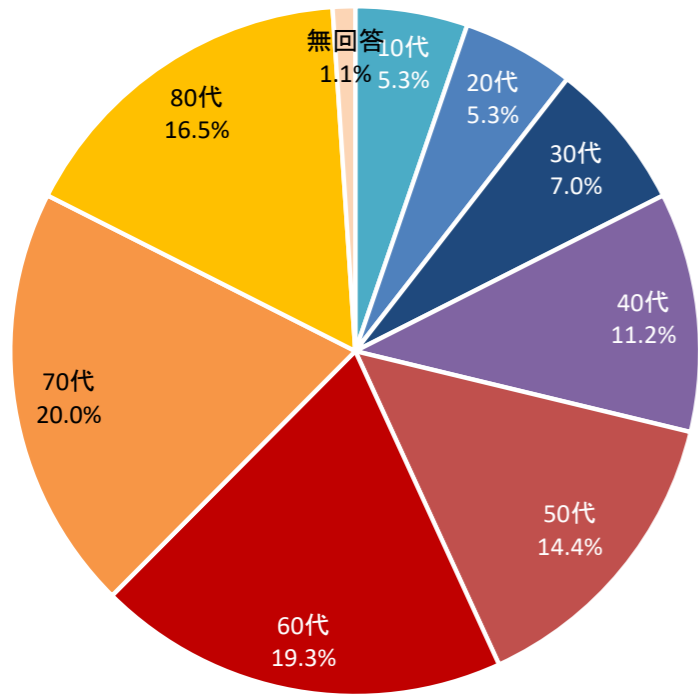
問3-2 休日はいつですか？(祝日を除く)

1. 土曜(毎週)と日曜 2. 土曜(隔週)と日曜 3. 日曜のみ
4. 平日 4. 不定期

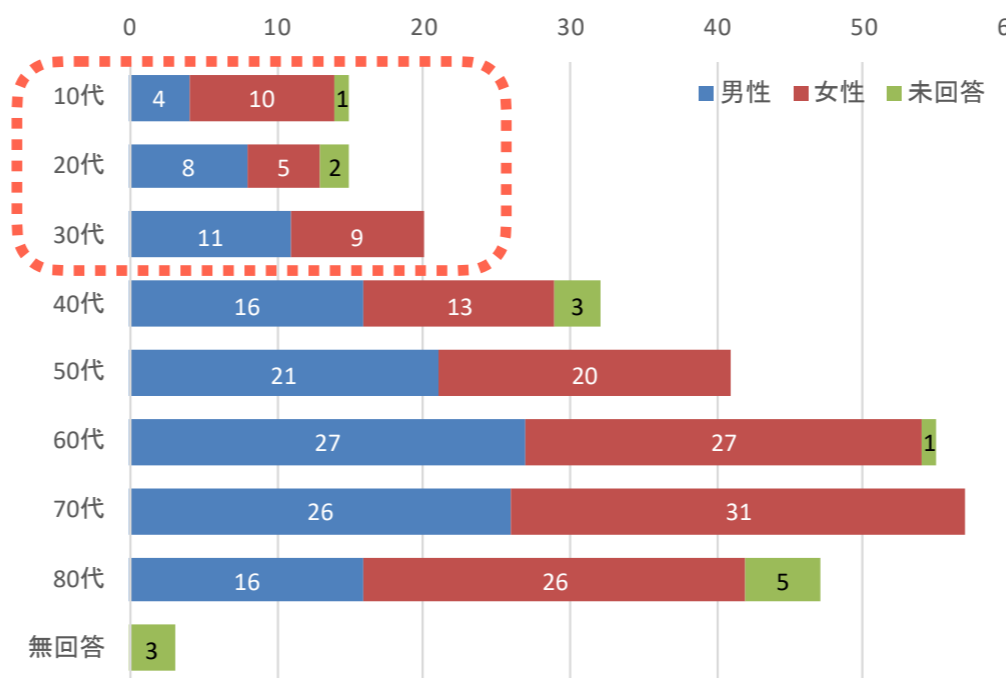
問4 農林業の作業(手伝いも含む)をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。

1. 作業をしている 2. 作業をしていない

回答者属性 (年代別)



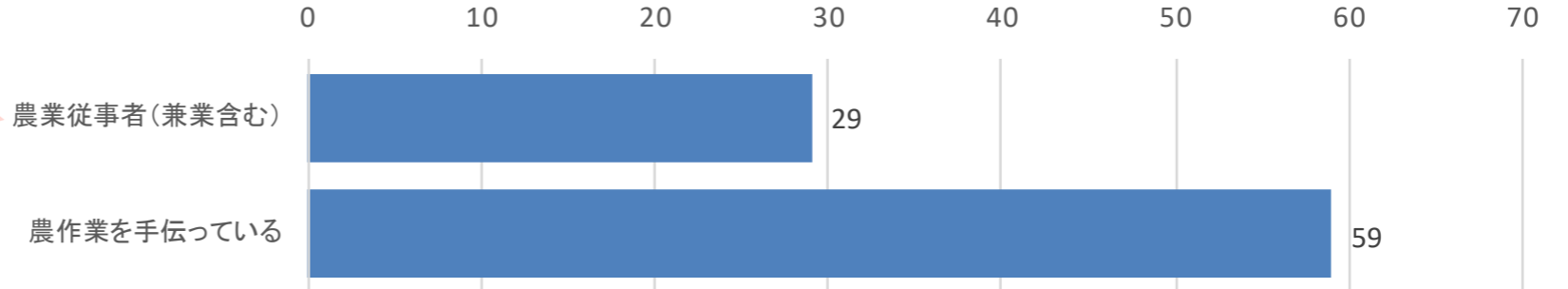
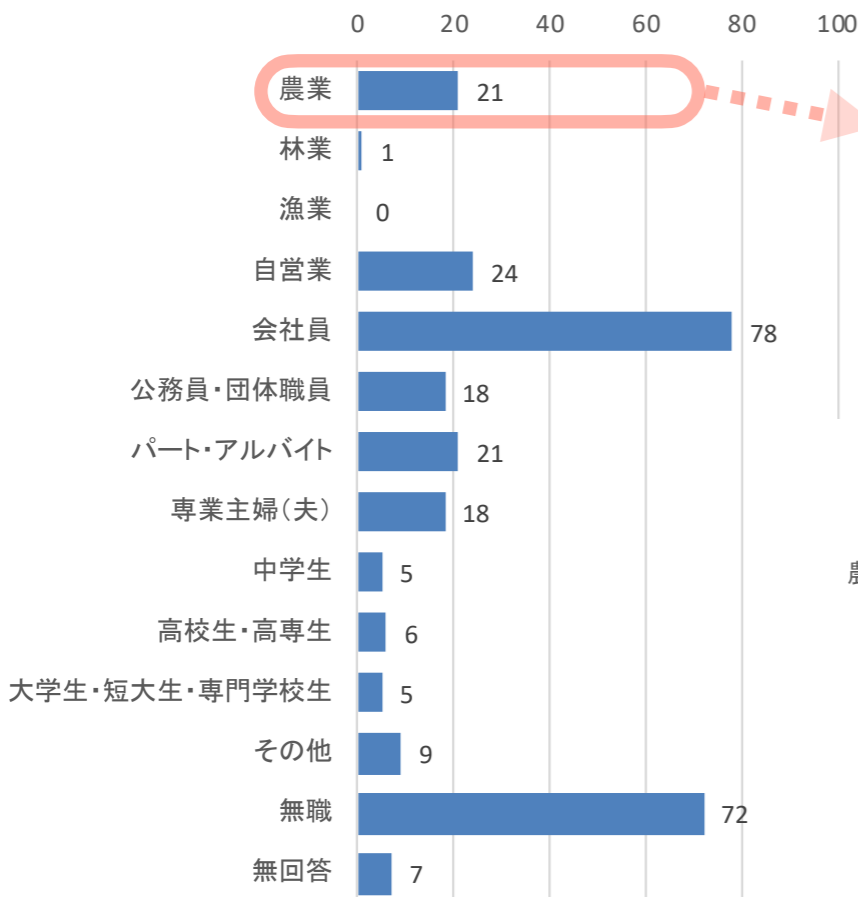
回答者属性 (年代別×男女別)



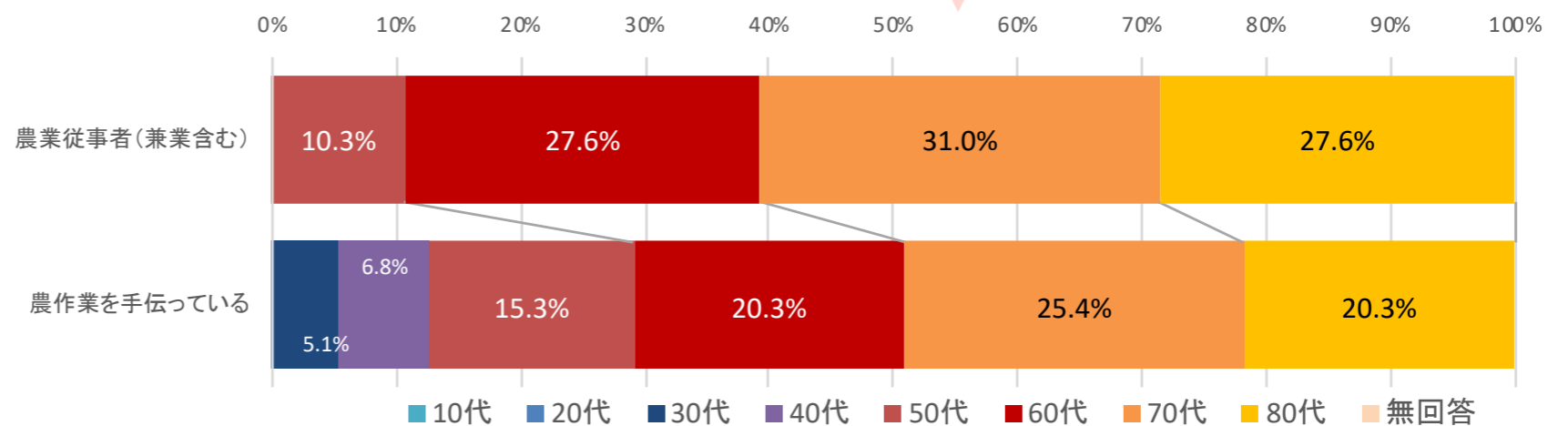
若者・中堅世代は少数派。多数決では年配層には叶わない。



世代別に意見をまとめないと埋没してしまう！



農業従事者数と農作業手伝っている人数の比較

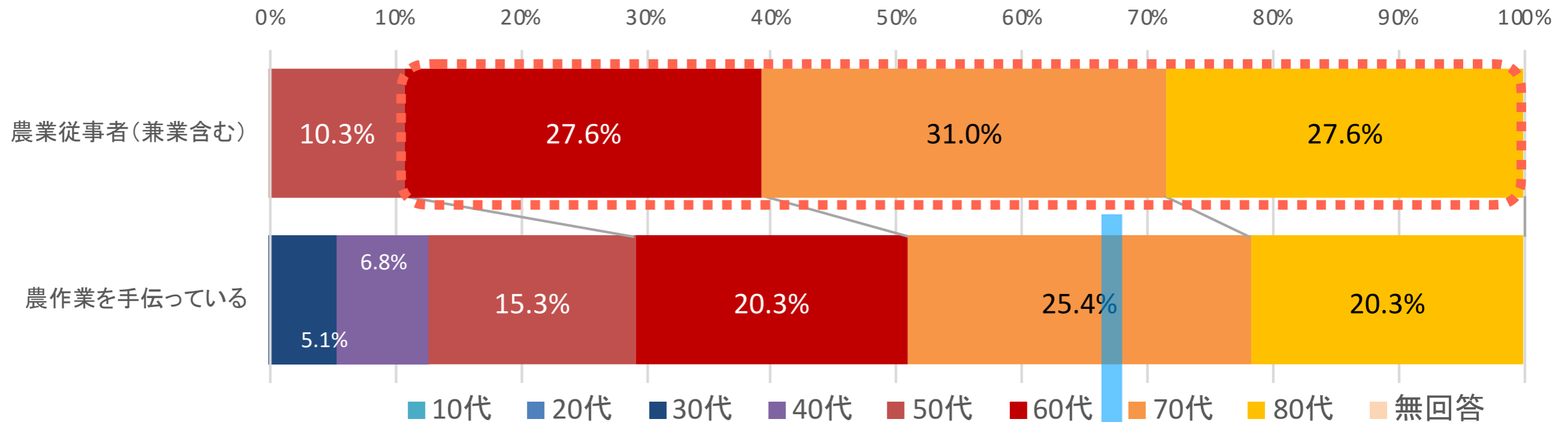


回答者属性 (職業)

農業従事者の年代構成 (割合)

農業従事者の年代構成

関川村上関地区 (2020)



農業作業に関わっている人の年代構成 (人数)

年代	農業従事者	農作業を手伝っている
10代	0	2
20代	0	2
30代	1	3
40代	0	4
50代	3	9
60代	8	12
70代	9	15
80代	8	12
計	29	59

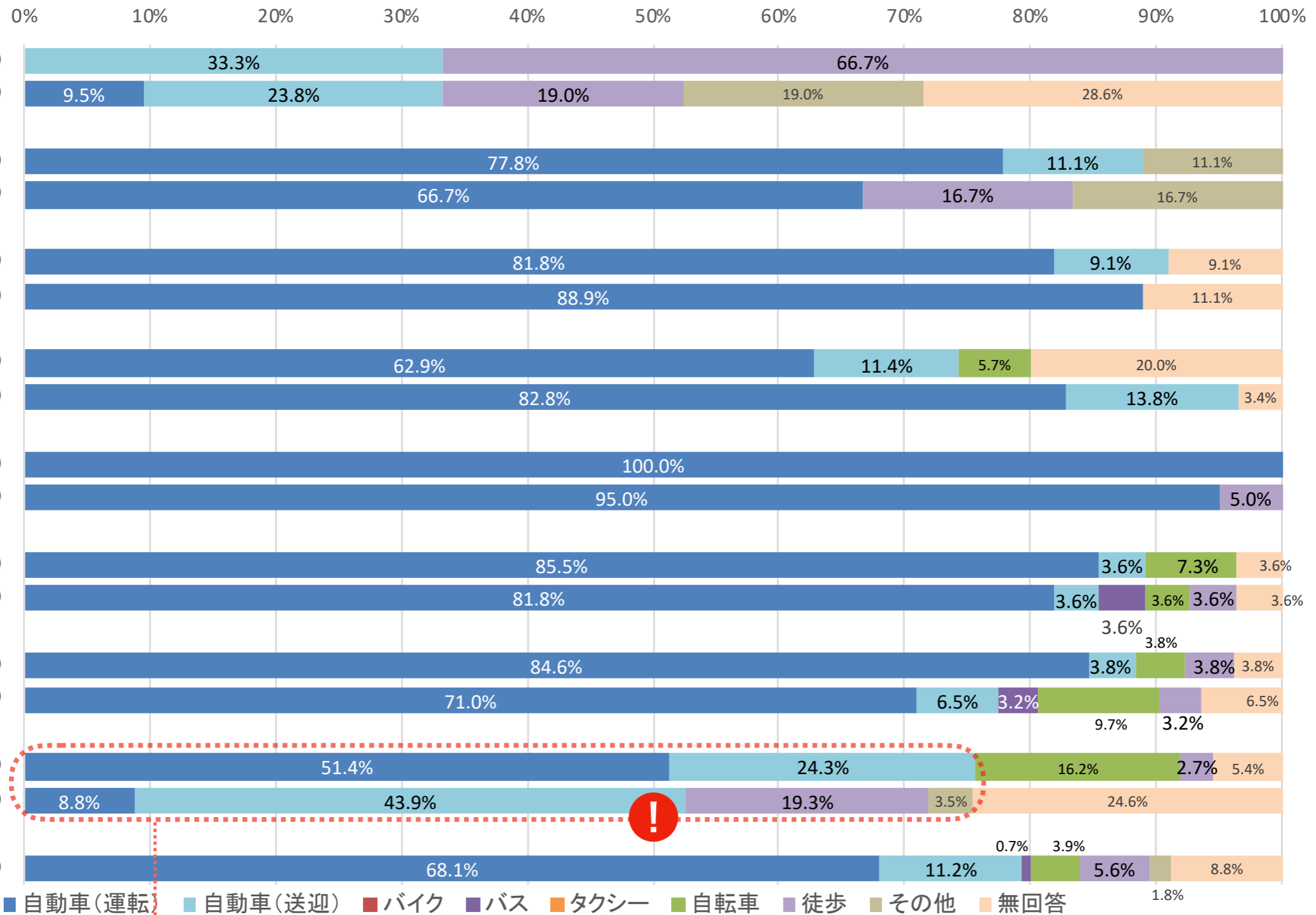
農業従事者の**89.7%**が**60代以上**

農地の維持管理はどうなりますか？

20年後の農業従事者は15人程度!?

年代別・男女別の日常的な交通手段

関川村上関地区 (2020)



将来的に送迎する側の人数が減少すると・・・
日常生活での移動が困難になる人の数は確実に増加する

80代になると自分で車の運転をする人の割合が減少



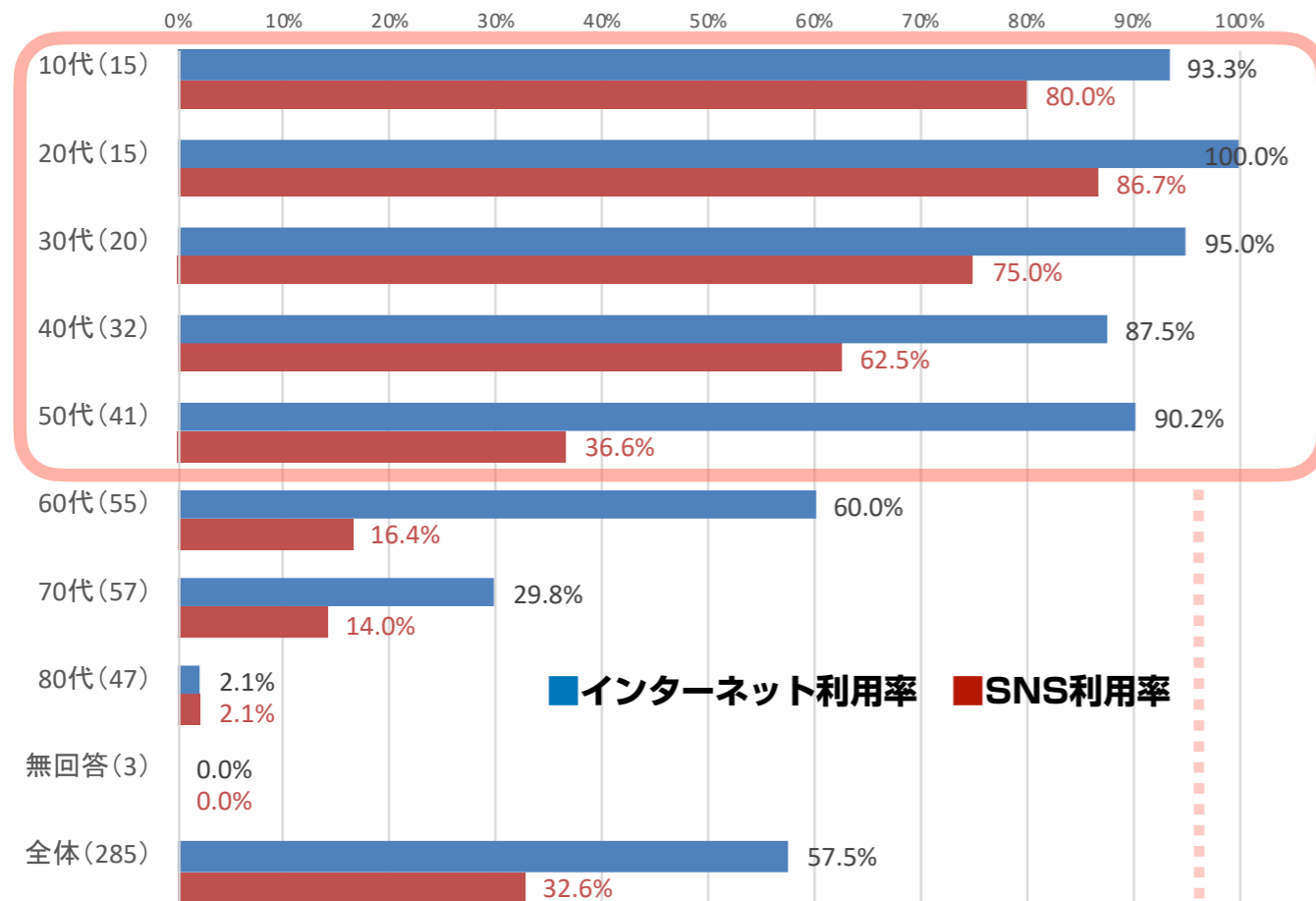
家族の送迎で高齢者の移動手段が賄われている



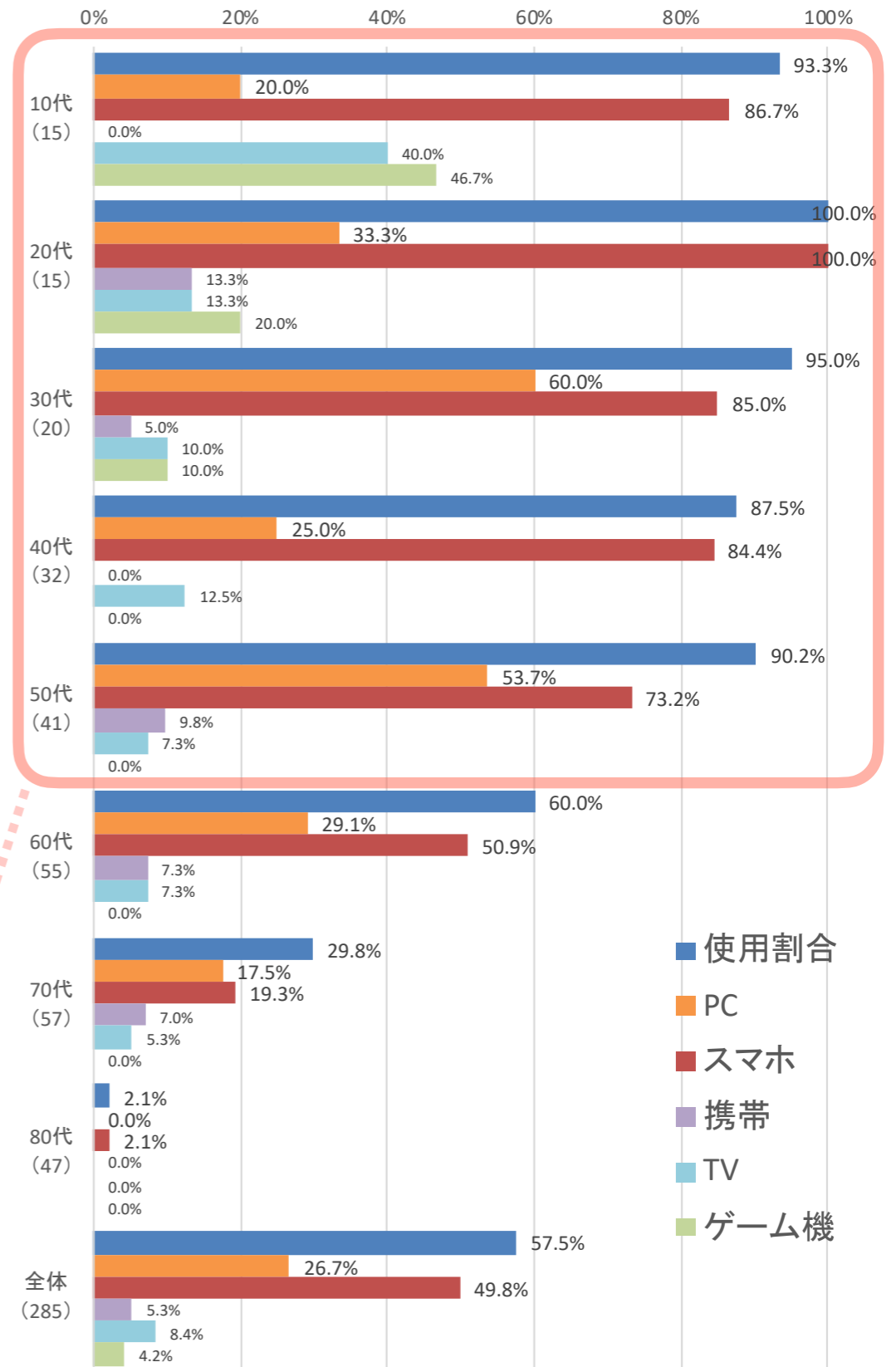
インターネットの利用割合

関川村上関地区 (2020)

年代別インターネットの利用率



年代別インターネット利用における使用機器

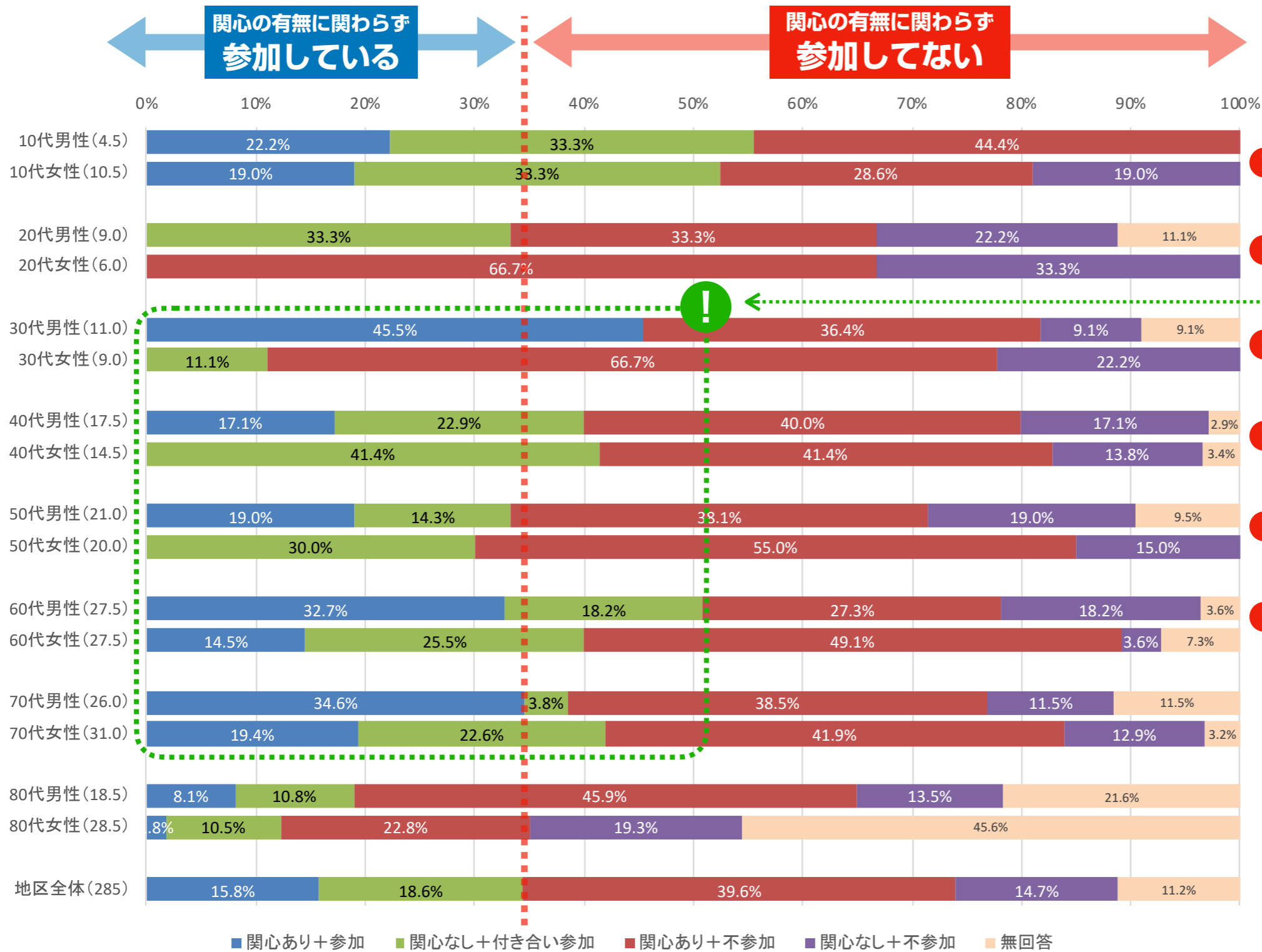


- 全体の半数以上がインターネットを利用。
- **50代以下はほぼ大半**がインターネットを利用。(60代でも6割)
- **大半がスマホ・携帯**で利用している。
- 40代以下は**6割以上がSNS**を利用。

50代以下はスマートフォン経由での情報伝達の方が効果的?!

地域活動への関心（年齢別・男女別）

関川村上関地区（2020）



現状は30～70代が頑張っているので何とか回っている。

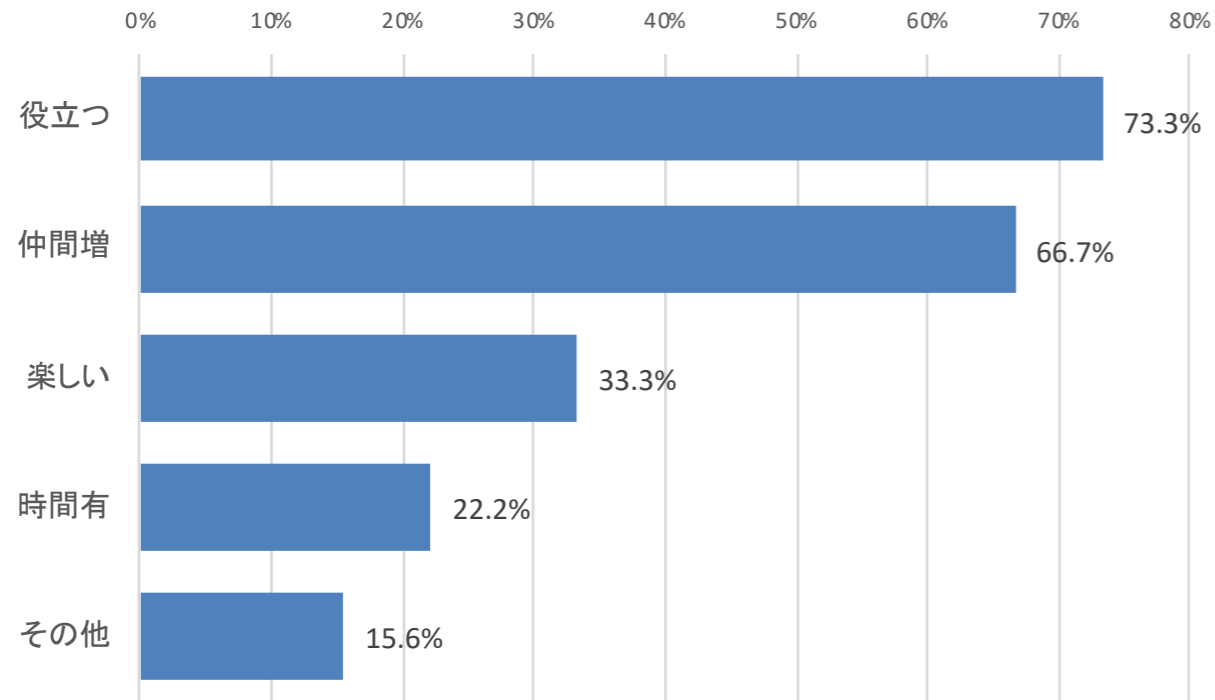
【注意！】すべての年代で関心あり+不参加が3～6割

必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではない。女性は「関心があっても参加していない」割合が男性に比べて高い。

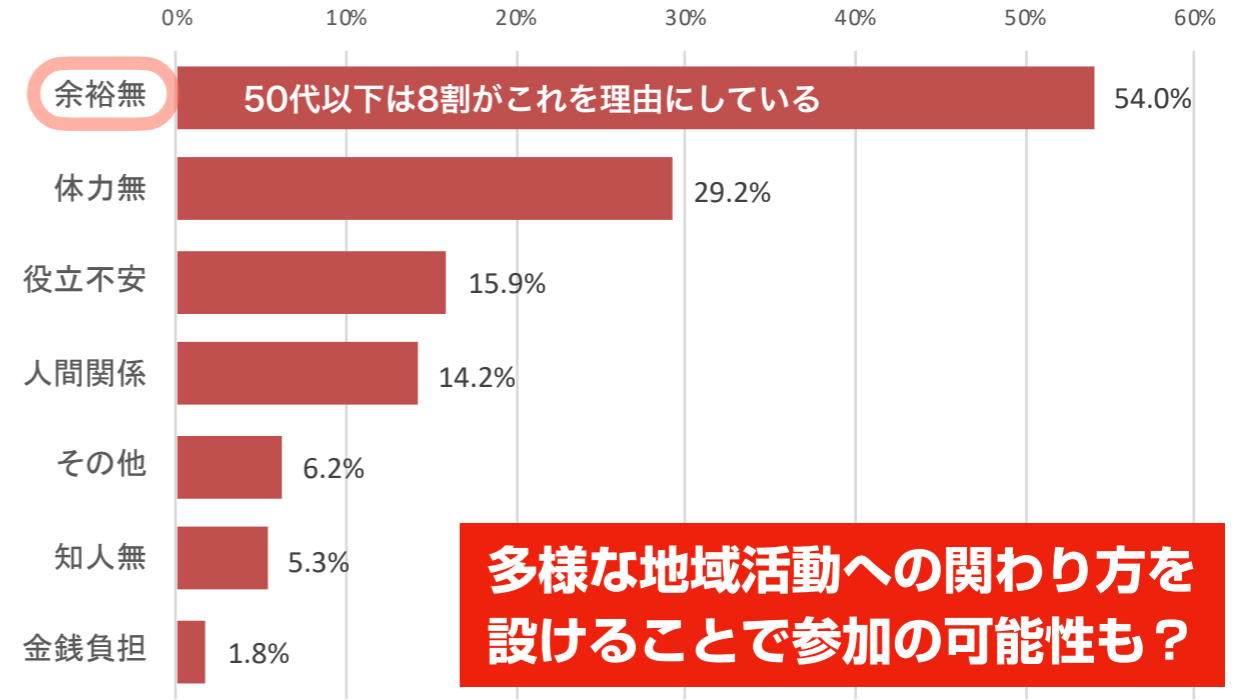
地域活動への関心 (それぞれの理由) ※複数回答

関川村上関地区 (2020)

関心あり+参加の理由 (回答数45)

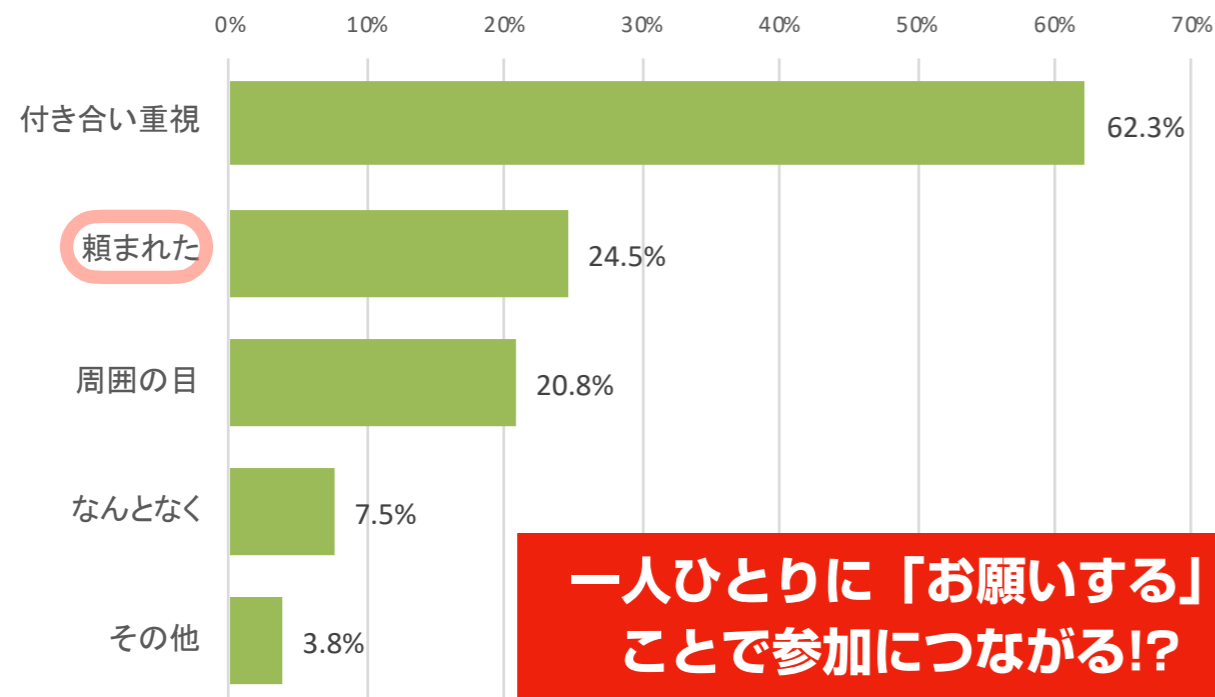


関心あり+不参加の理由 (回答数113)



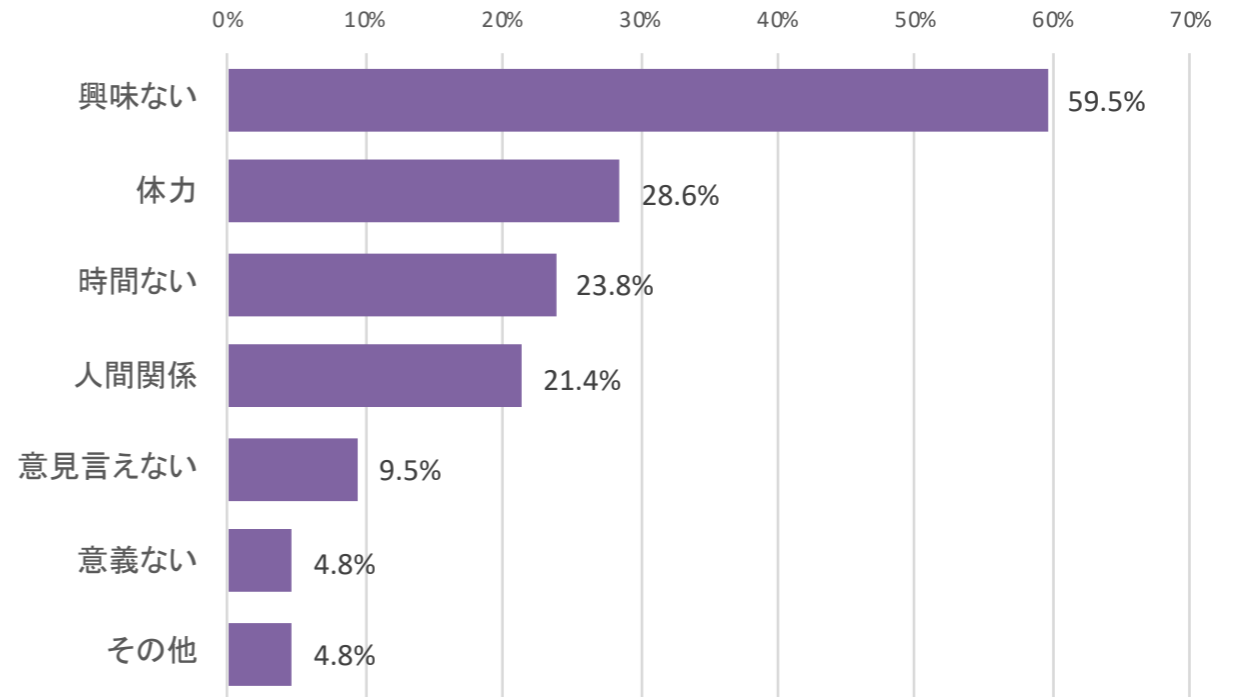
多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性も？

関心なし+付き合い参加の理由 (回答数53)



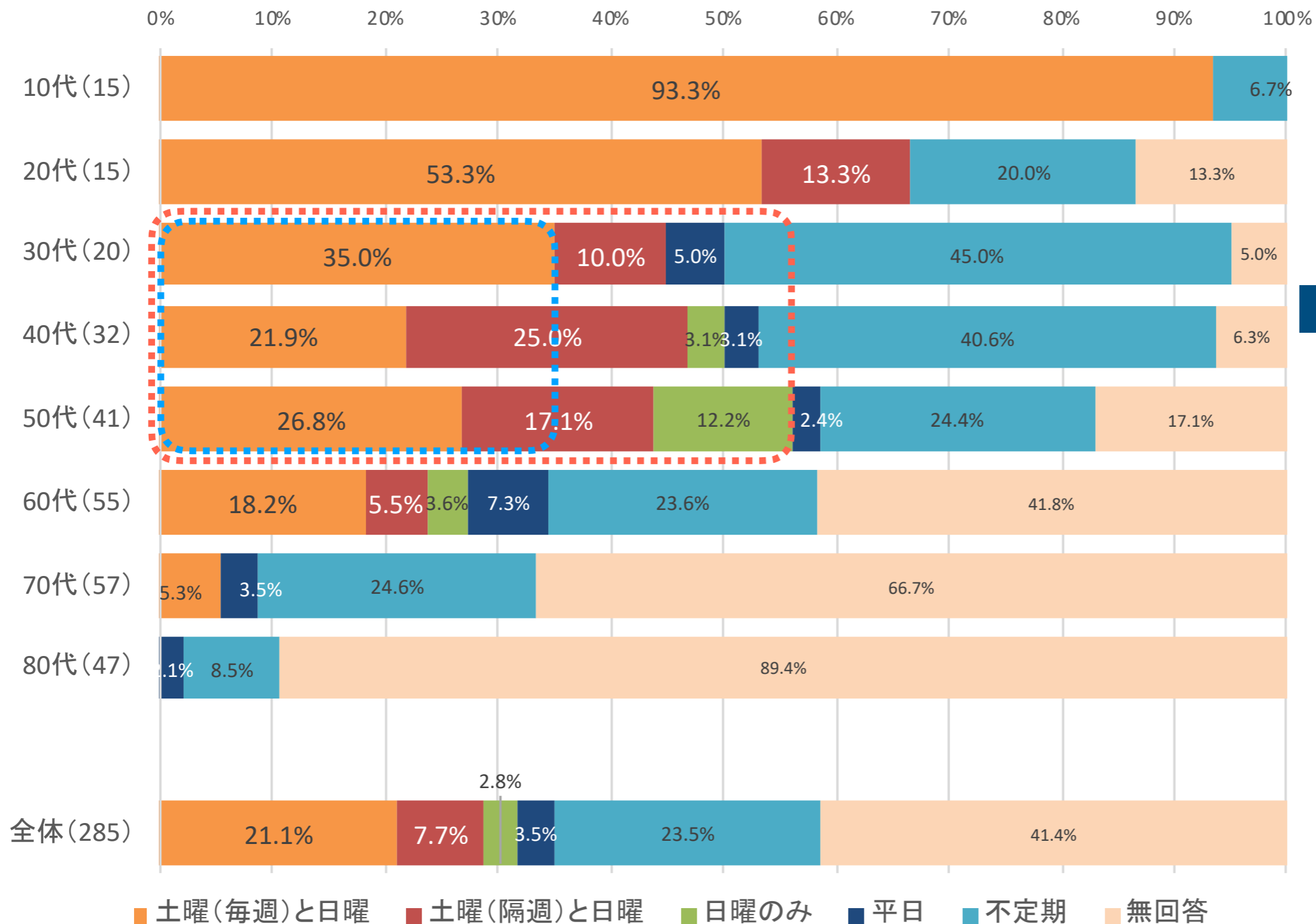
一人ひとりに「お願いする」ことで参加につながる!?

関心なし+不参加の理由 (回答数42)



休日はいづか？（年代別）

関川村上関地区（2020）



30~50代

土曜日が毎週休み
2~3割

日曜日が毎週休み
5割前後

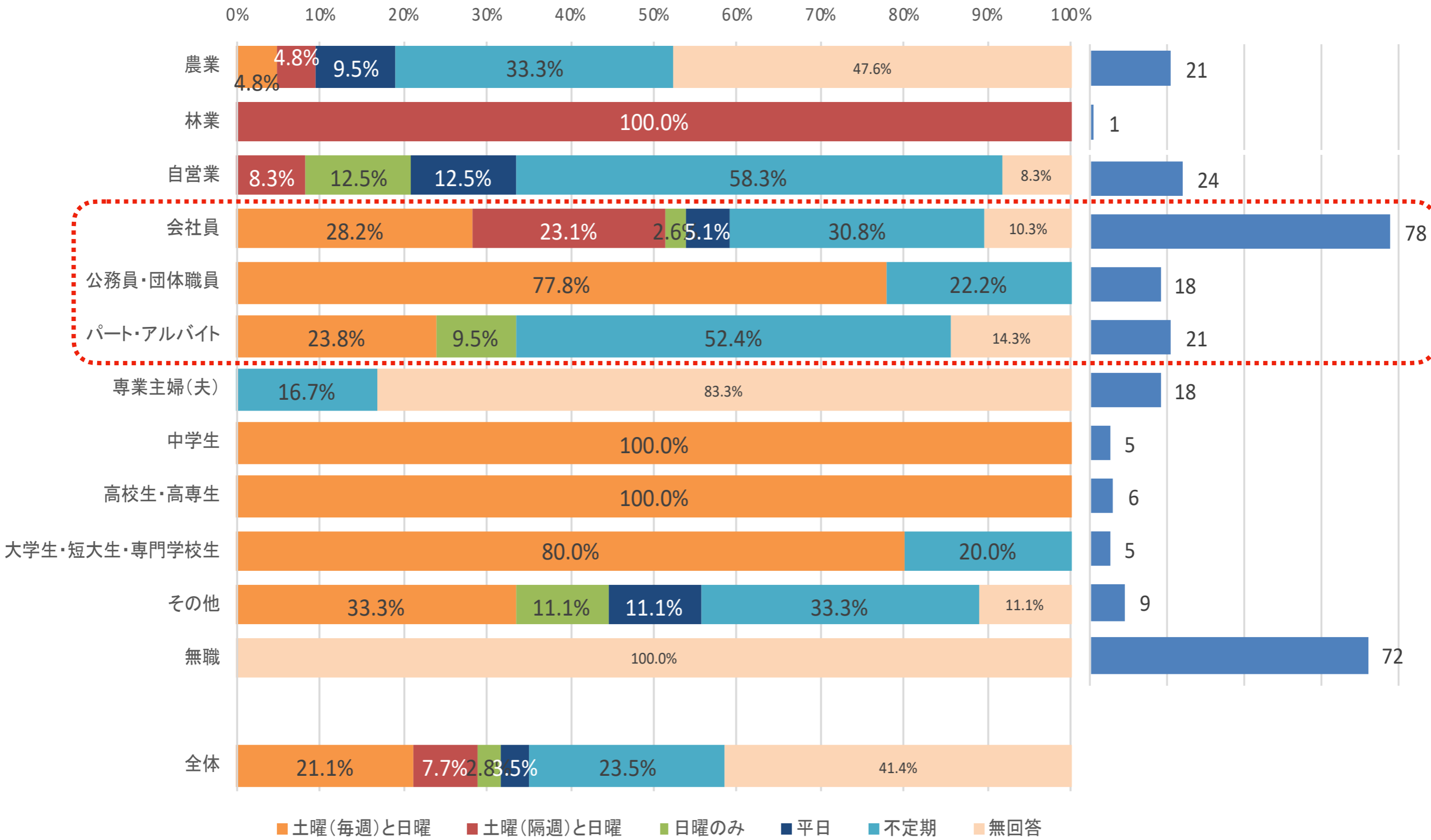
休みが平日・不定期
3~4割

必ずしも土日は休みではない

この世代の参加を求めるのであれば、配慮が必要！

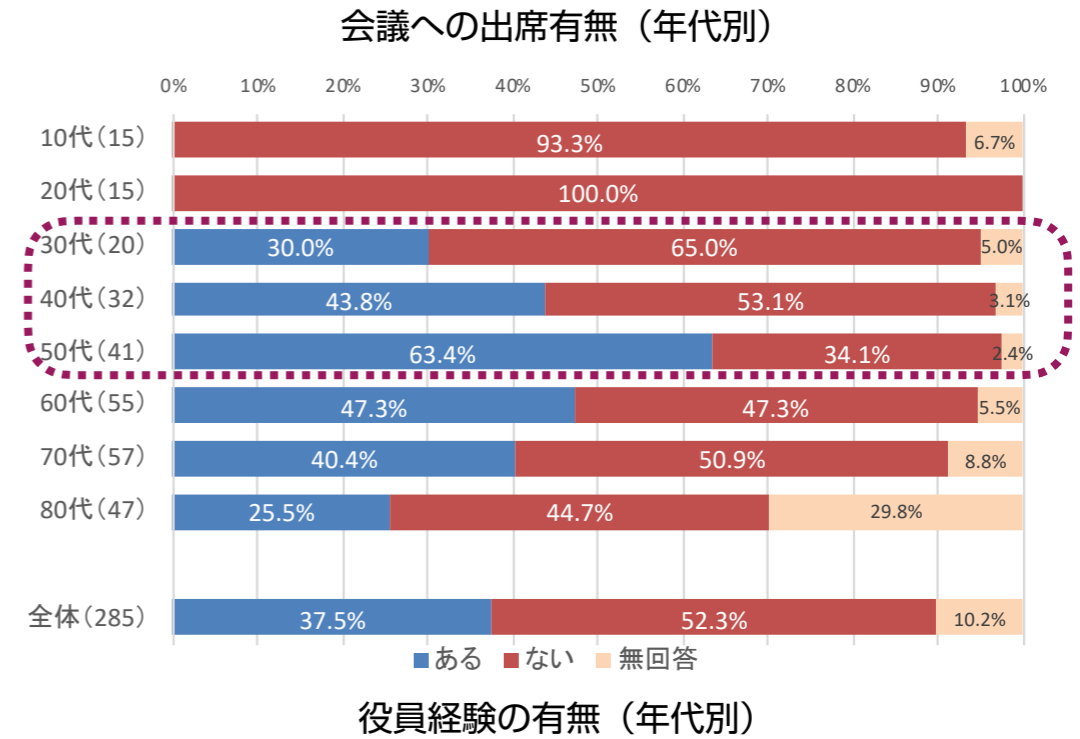
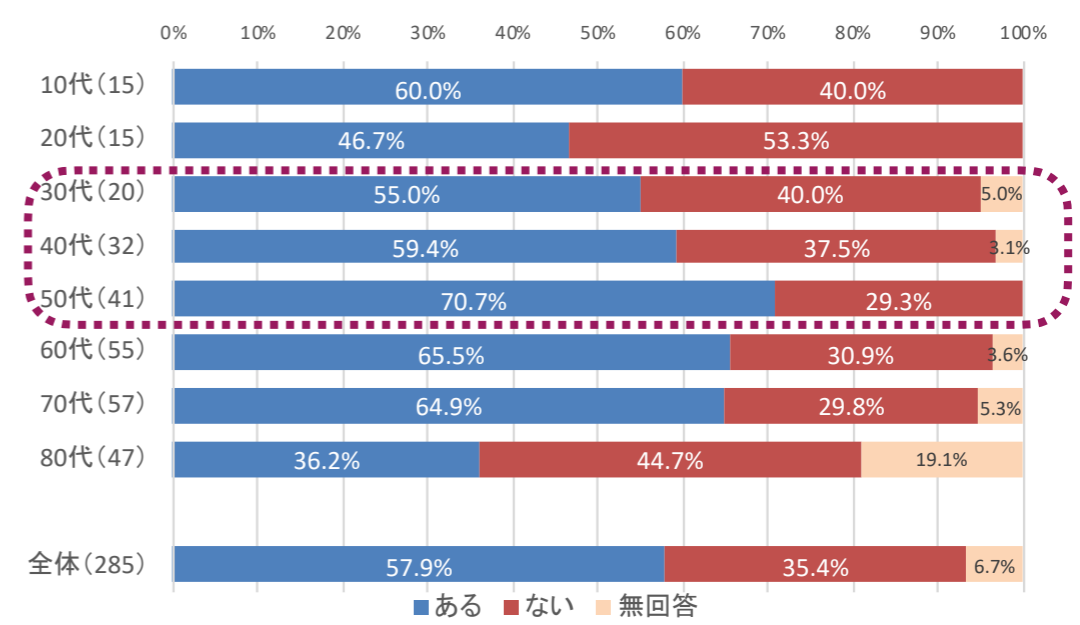
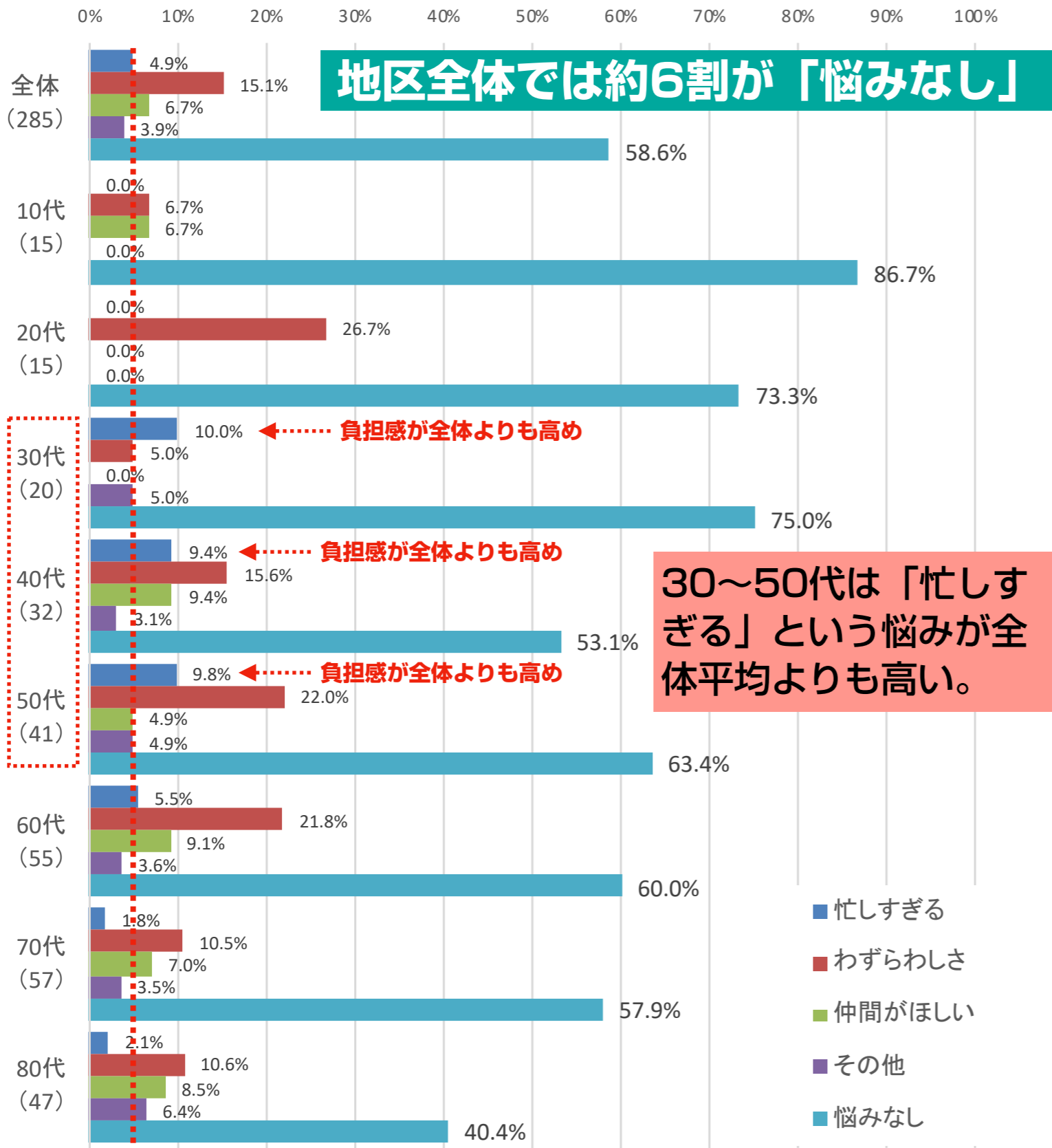
休日はいづか？（職業別）

関川村上関地区（2020）



当然、職業によっても休日は異なる → 行事・共同作業の曜日設定に配慮が必要

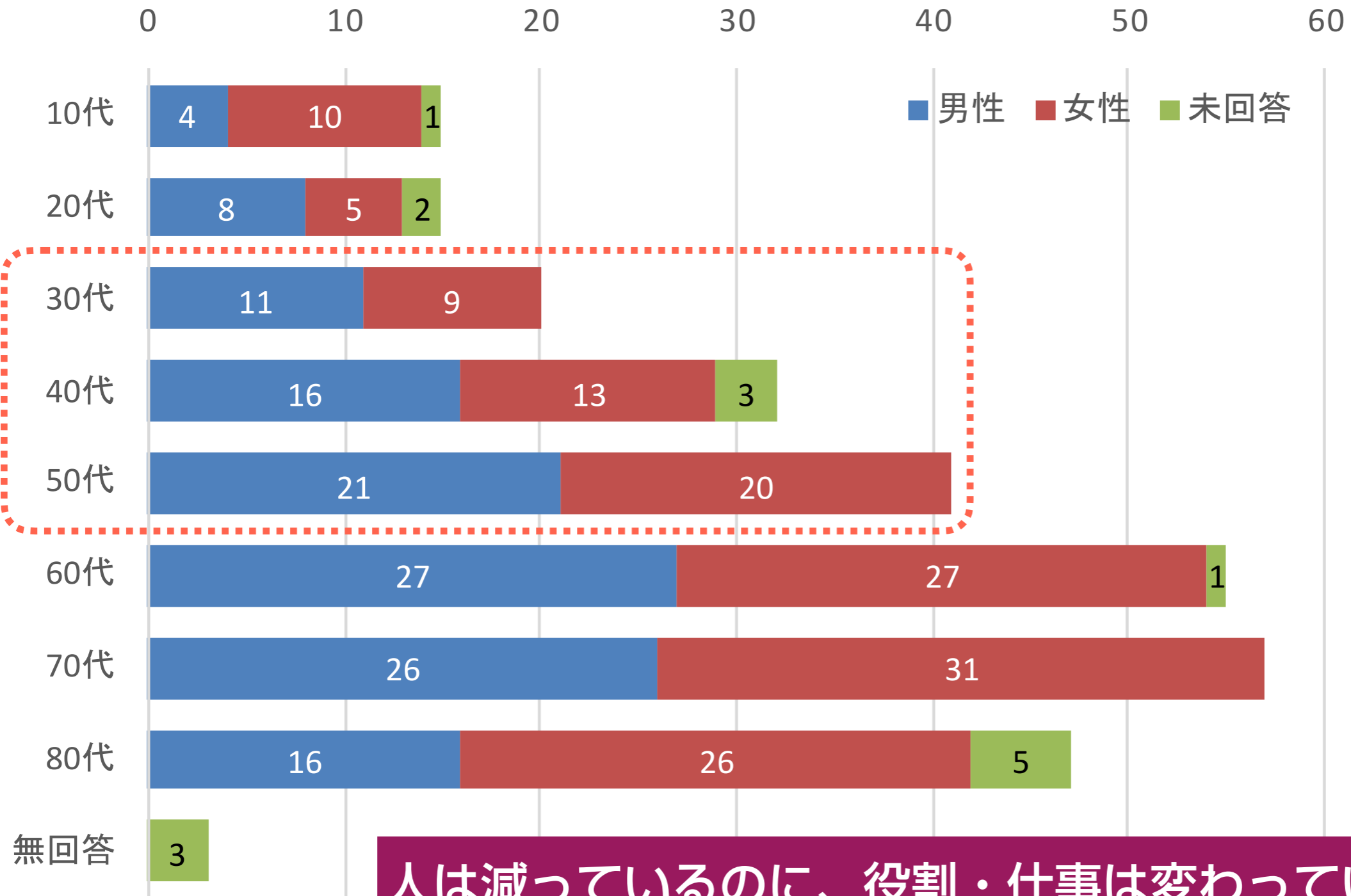
近所づきあいでの悩み / 会議出席・役員経験の有無 (年代別)



人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないならば、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

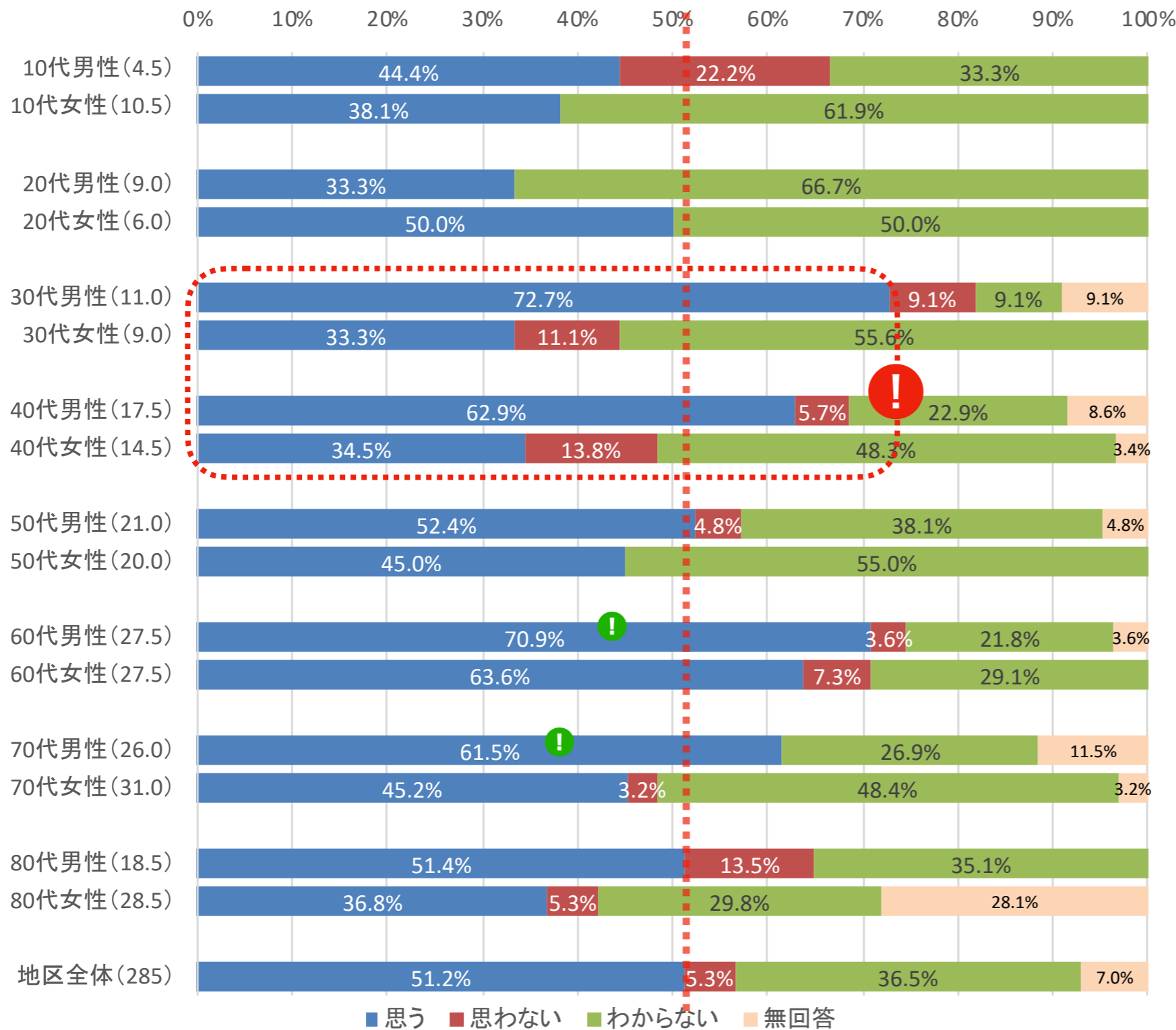
回答者属性

関川村上関地区 (2020)



人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないならば、負担感が増すのは当然のこと。今後、さらに人の数は減っていくのに、このままの状況で大丈夫か？

女性・若者の声を反映する必要性 (年代別×男女別) 関川村上関地区 (2020)



30~40代男性は
声を反映すべきの割合が
6~7割とかなり高い

※50代男性も地区平均と同じ割合
※女性は「わからない」が多い

+

60~70代男性も
6~7割が必要と回答

||

お互いにその気はある!



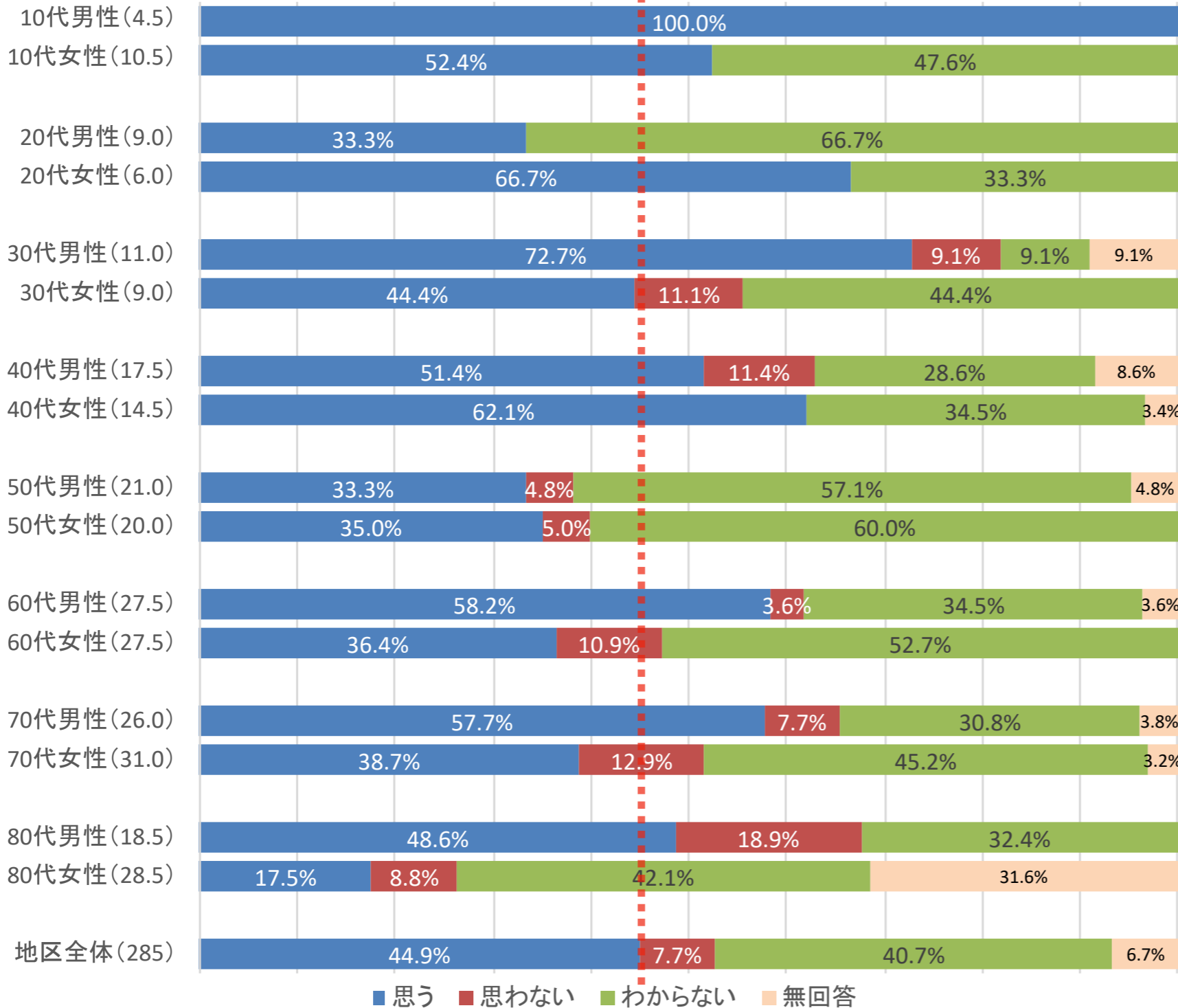
声を反映させる機会の
充足・工夫が
求められている!

地区全体では、半数が「必要」と回答。

定住受入の必要性 (年代別×男女別)

関川村上関地区 (2020)

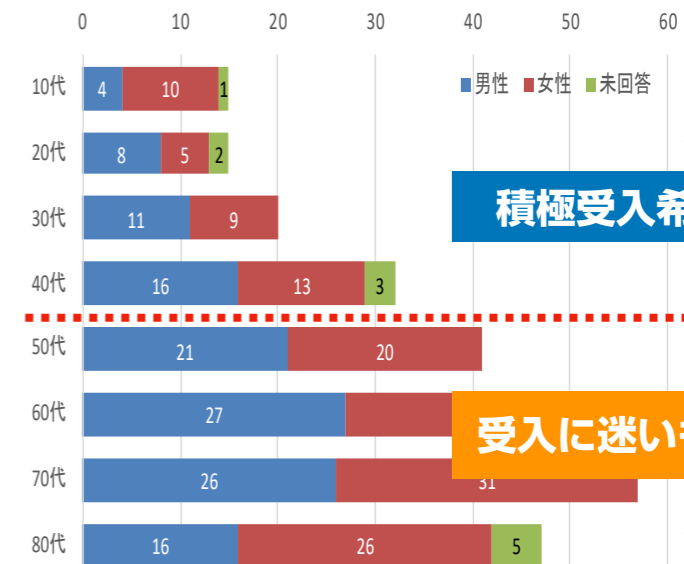
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



受入の必要性を強く思っている世代

必要性は感じているが迷いもある世代

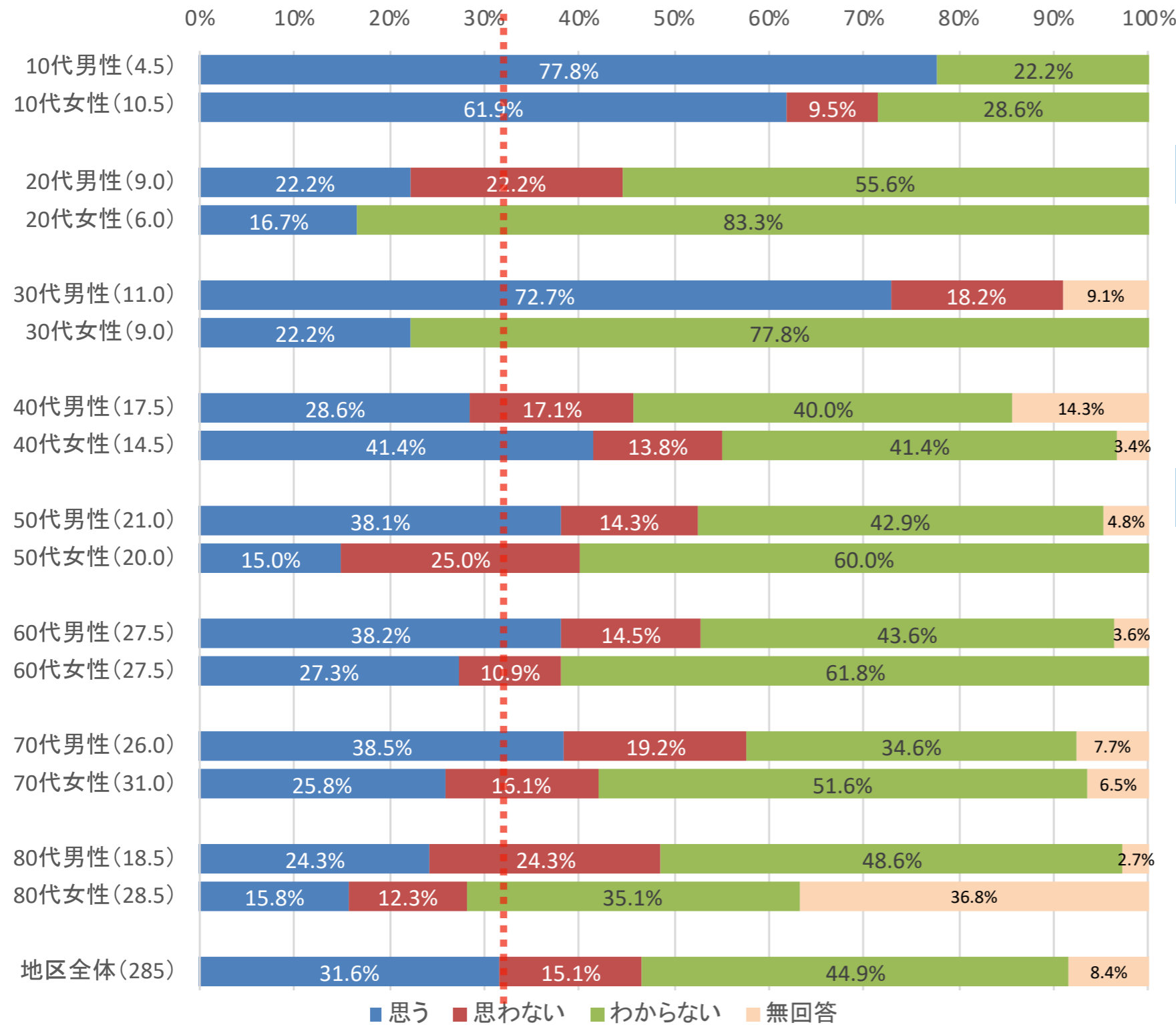
回答者属性 (年代構成)



地区全体では、4割以上が「必要」と回答。
40代以下は「必要」が5割以上

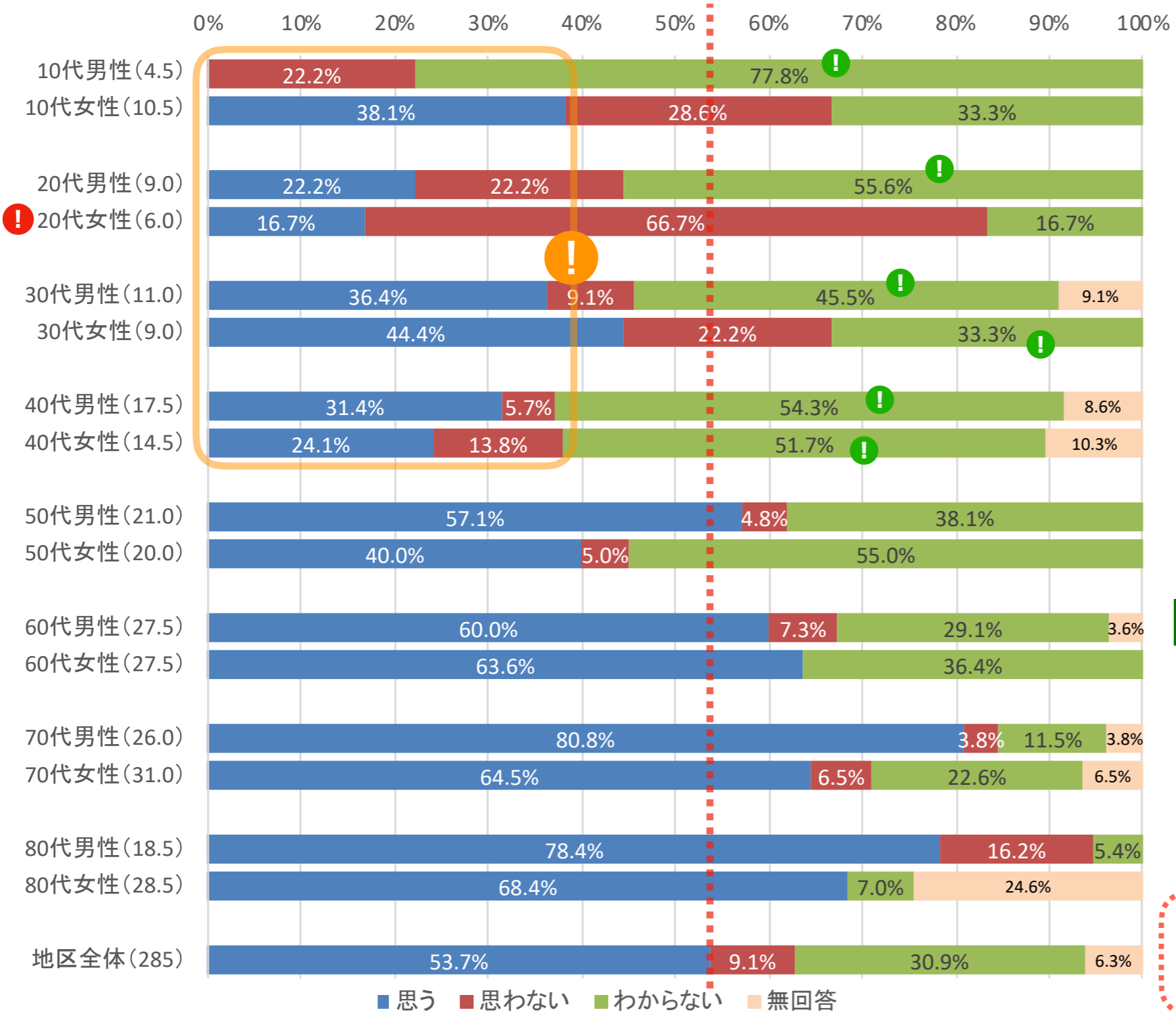
他地域との交流の必要性 (年代別×男女別)

関川村上関地区 (2020)



地区全体では「わからない」が4割以上。

この地域に住み続けたいと思うか？ (年代別×男女別) 関川村上関地区 (2020)



10~40代は
地区平均より低い

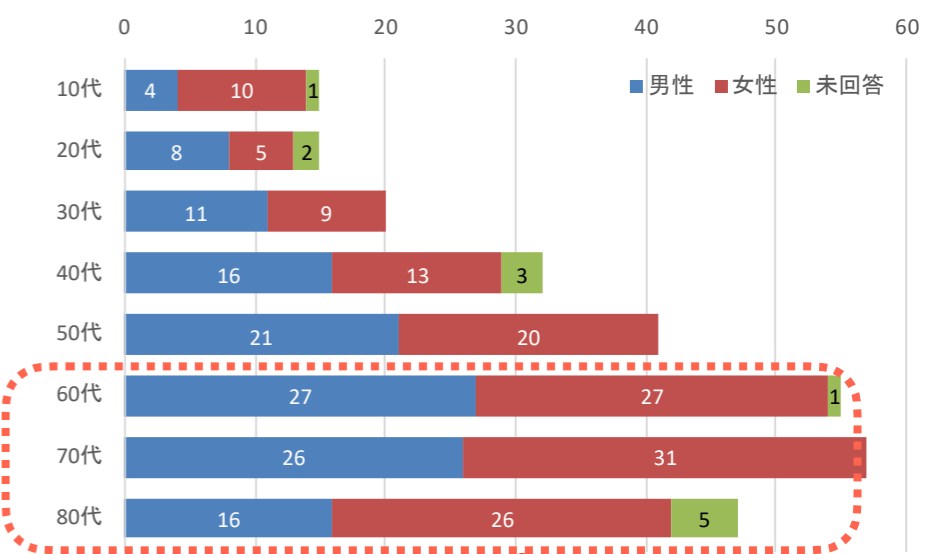
+

3~8割が
わからないと回答

||

これからの取り組み次第！

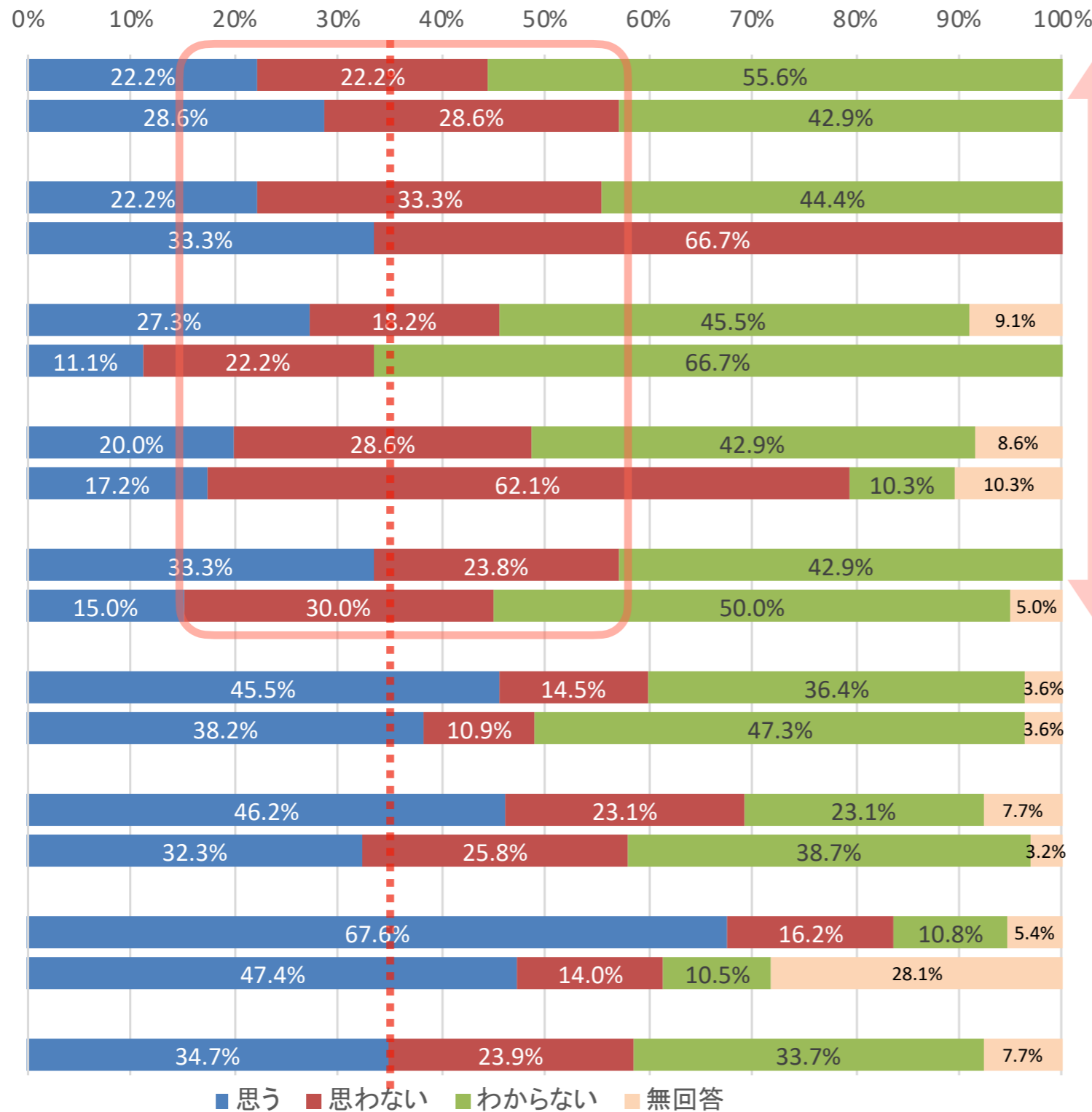
回答者属性 (年代構成)



地区全体では「住み続けたいと思う」は半数以上

多数派の意見が色濃く
反映された結果

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？ (年代別×男女別)



50代以下は、
住み続けてほしい
とは思わない
の割合がかなり高い！

※大半の年代で、女性は「住み続けてほしいと思わない」の割合が高い。(特に20代と60代)



ただし...

50代以下の大半で
4~6割がわからない



これからの取り組み次第！

地区全体では「住み続けてほしい」は1/3

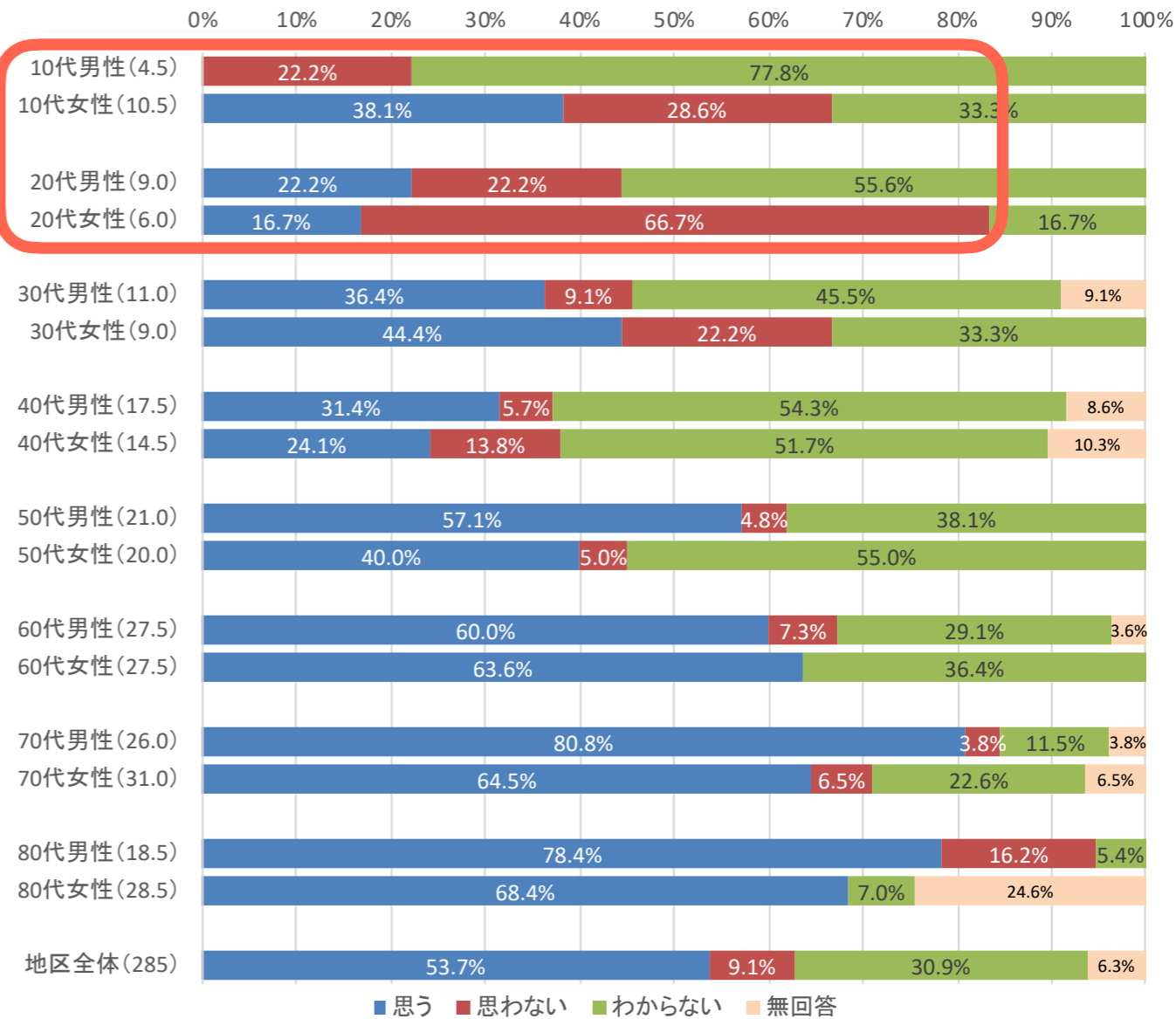
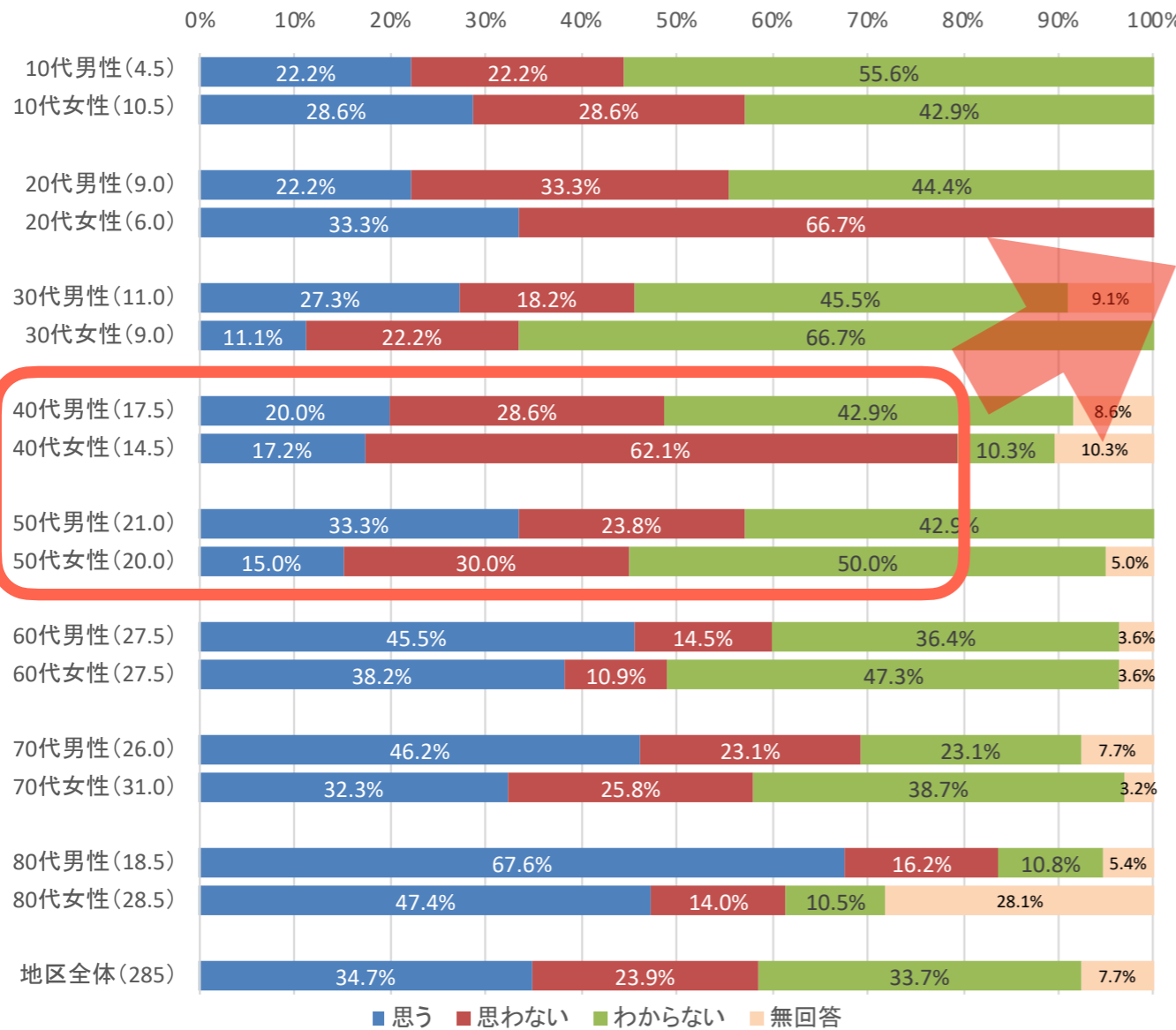
わからないもほぼ同じ割合

親世代（40～50代）は「住み続けてほしいとは思わない」の割合が高い

子ども世代（10～20代）は「住み続けたい」の割合が低い

自分の子どもにも住み続けてほしいと思うか？（年代別×男女別）

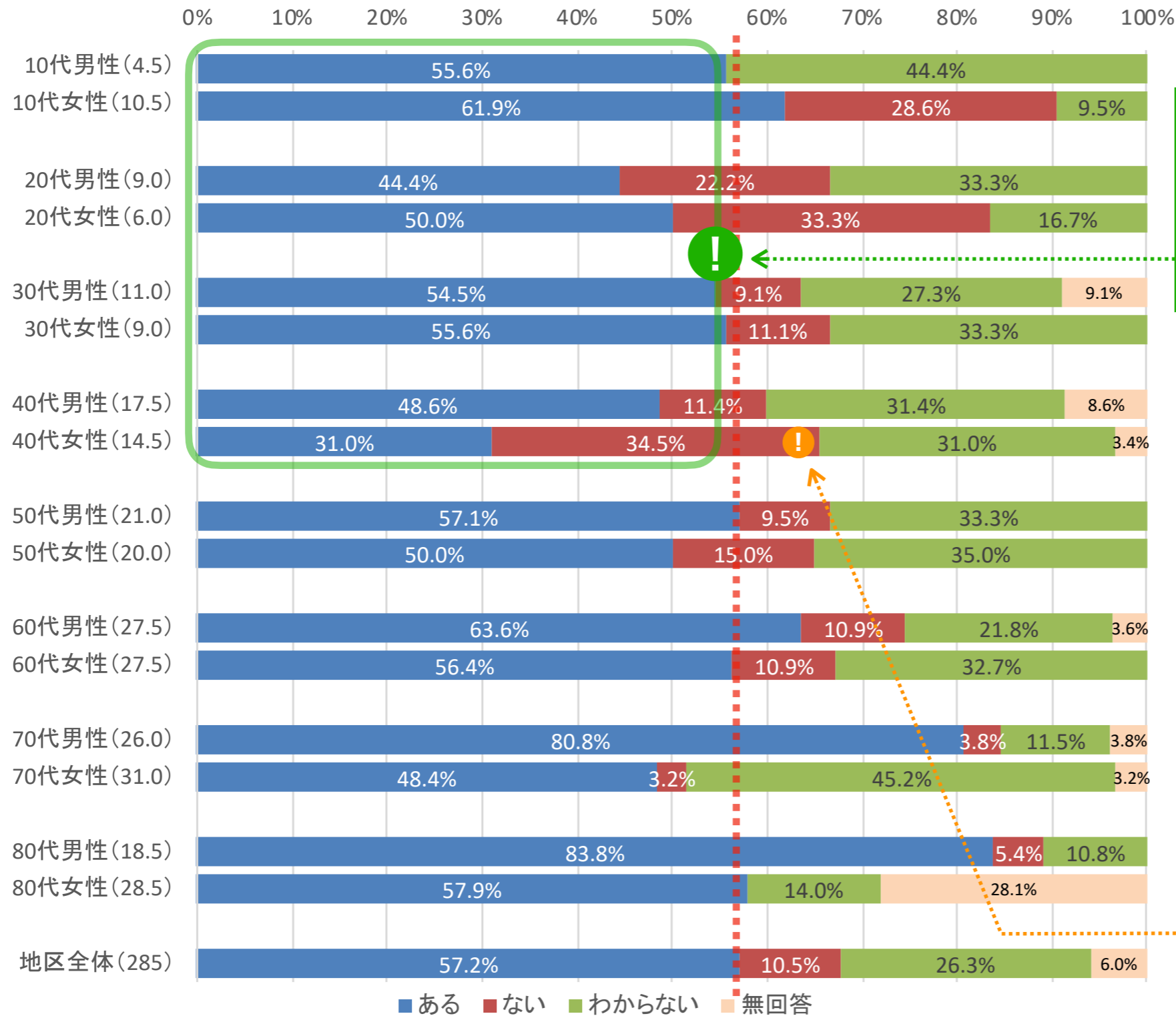
この地域に住み続けたいと思うか？（年代別×男女別）



親世代の意向が、子世代に影響していませんか!?

地域への愛着の有無 (年代別×男女別)

関川村上関地区 (2020)



定住意向が低い
40代以下の愛着度は低い訳ではない

愛着はあっても定住意向が低いのは...



将来への希望・安心感が足りない!?

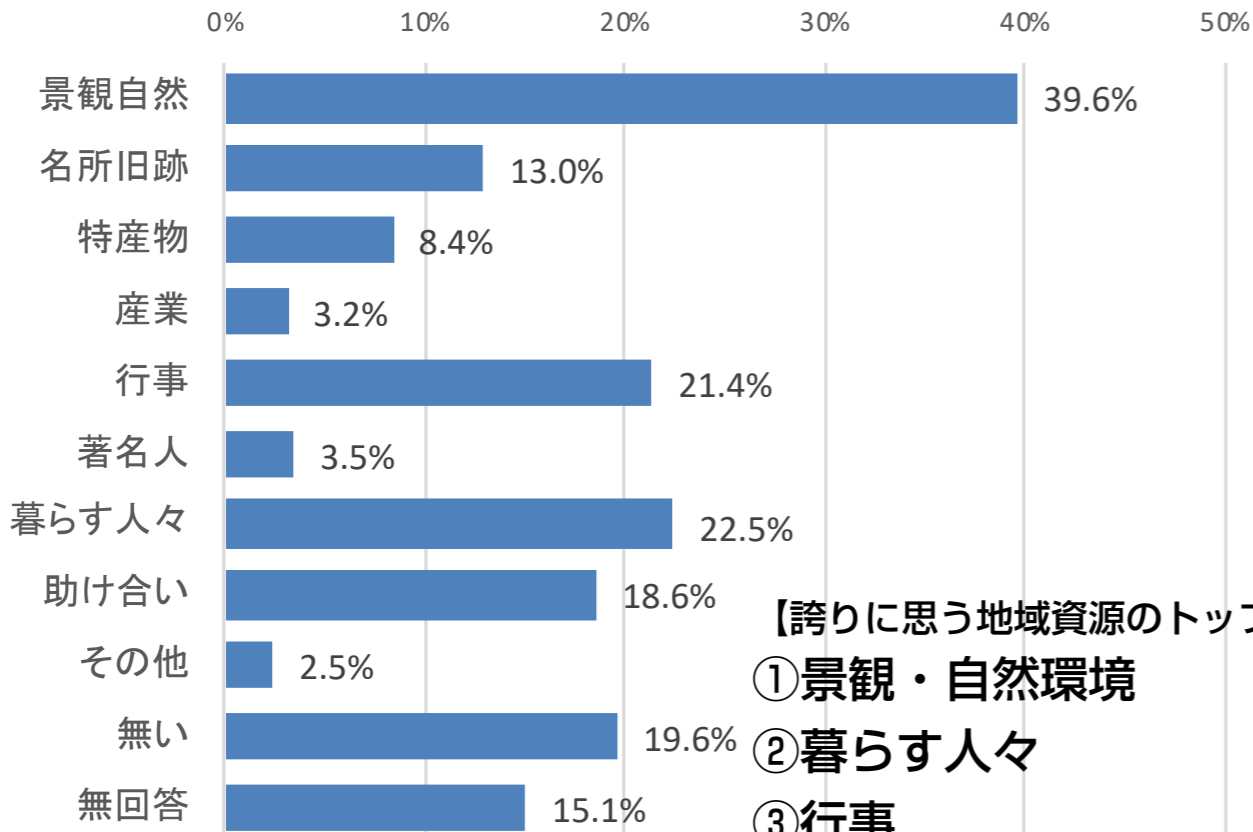
【注意】40代女性は「愛着なし」が最も高い

「愛着がある」が半数以上

誇りに思う地域資源は何か (10~40代)

関川村上関地区 (2020)

地区全体 (複数回答)



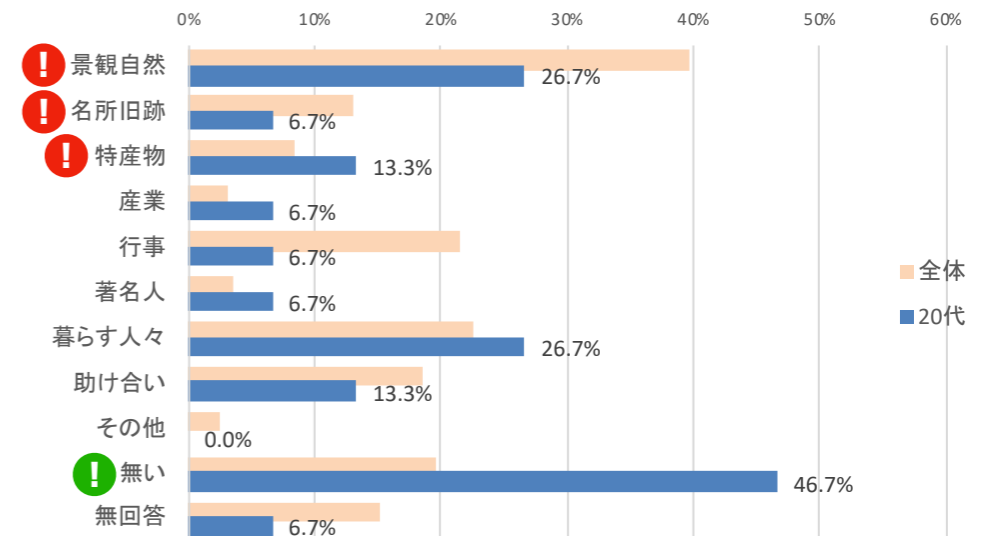
【誇りに思う地域資源のトップ5】

- ① 景観・自然環境
- ② 暮らす人々
- ③ 行事
- ④ 誇りに思うものは無い
- ⑤ 助け合いなどの社会関係

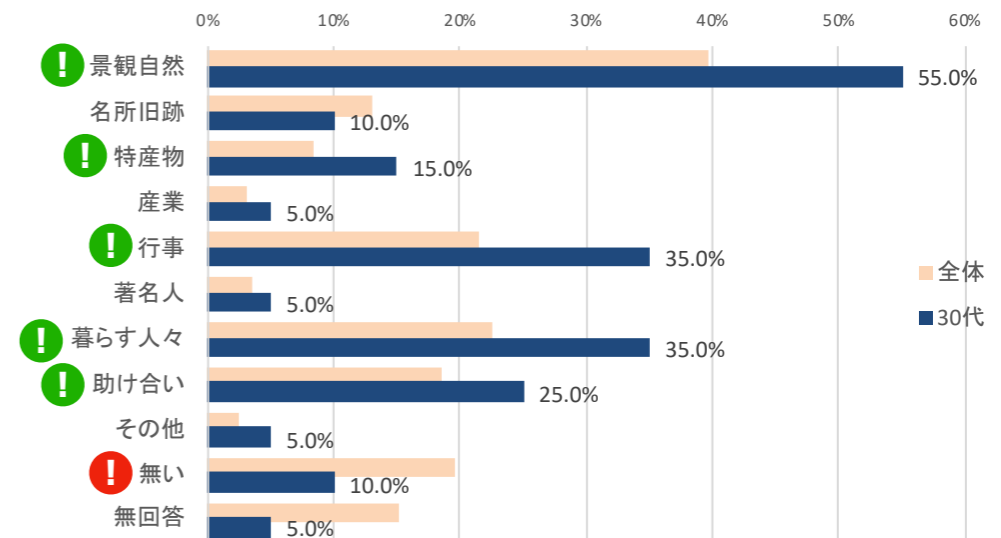
- ! 地区平均よりも5%以上高い項目
- ! 地区平均よりも5%以上低い項目

世代によって誇りに思う資源は違う

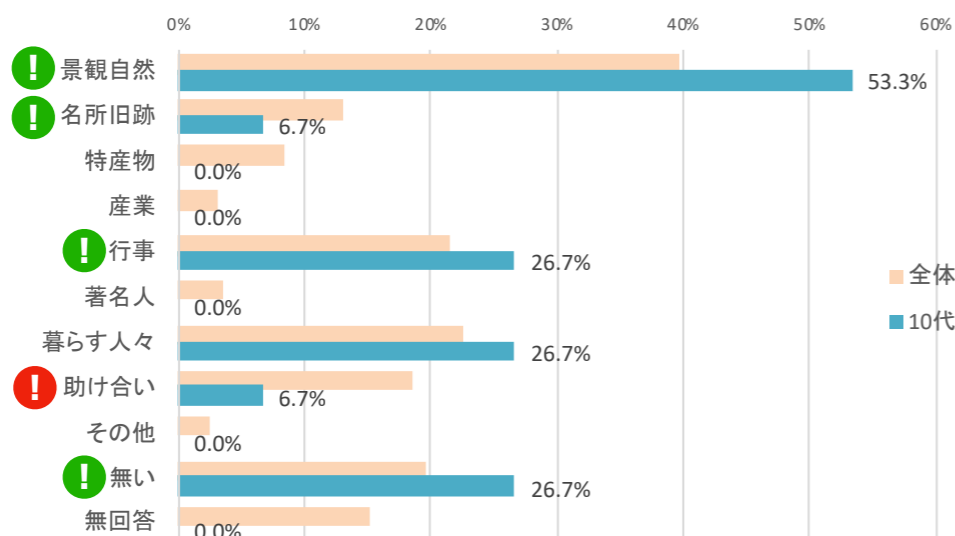
20代



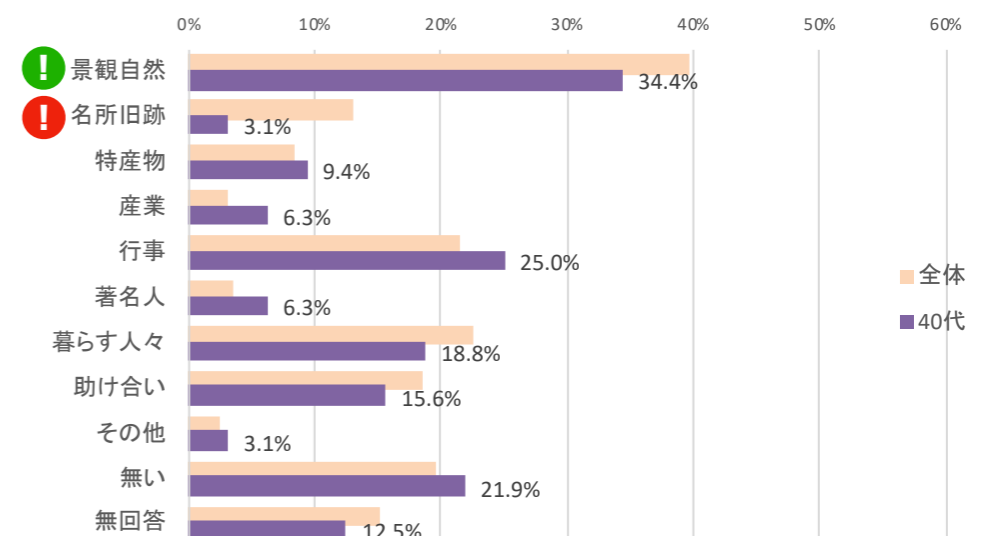
30代



10代



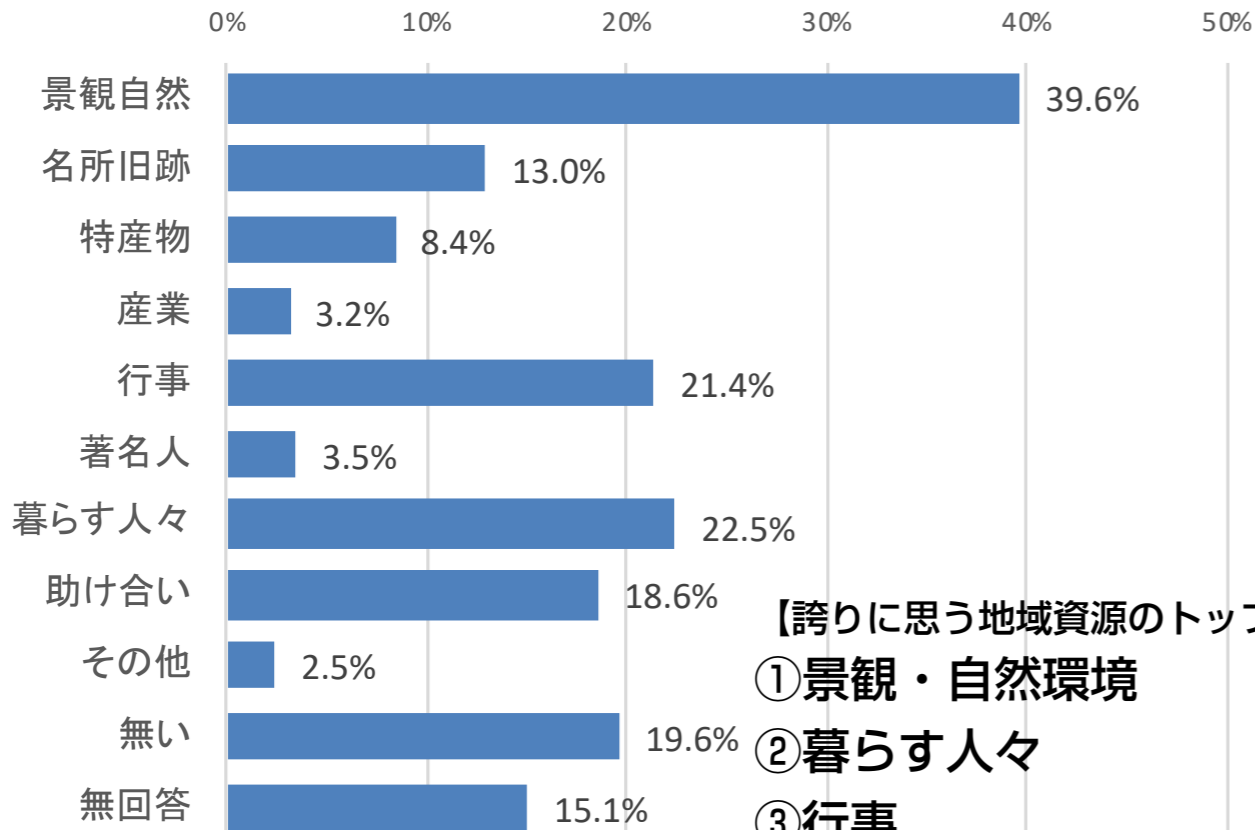
40代



誇りに思う地域資源は何か (50代~)

関川村上関地区 (2020)

地区全体 (複数回答)



【誇りに思う地域資源のトップ5】

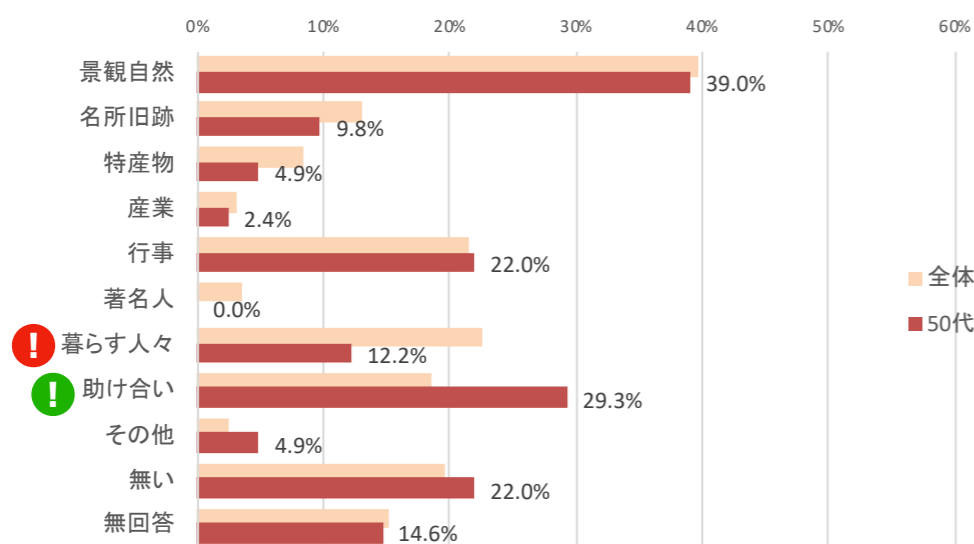
- ① 景観・自然環境
- ② 暮らす人々
- ③ 行事
- ④ 誇りに思うものは無い
- ⑤ 助け合いなどの社会関係

! 地区平均よりも5%以上高い項目

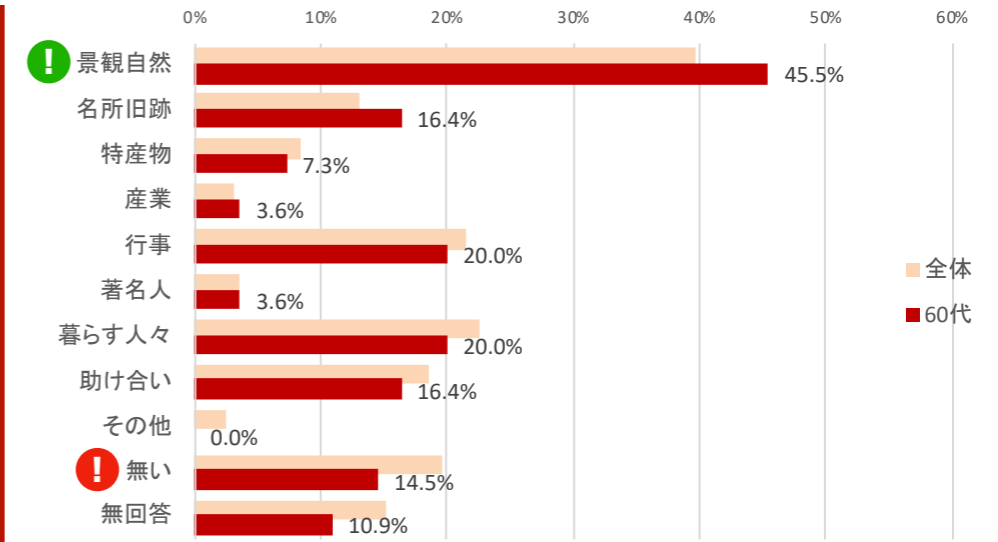
! 地区平均よりも5%以上低い項目

世代によっても誇りに思うところの資源は違う

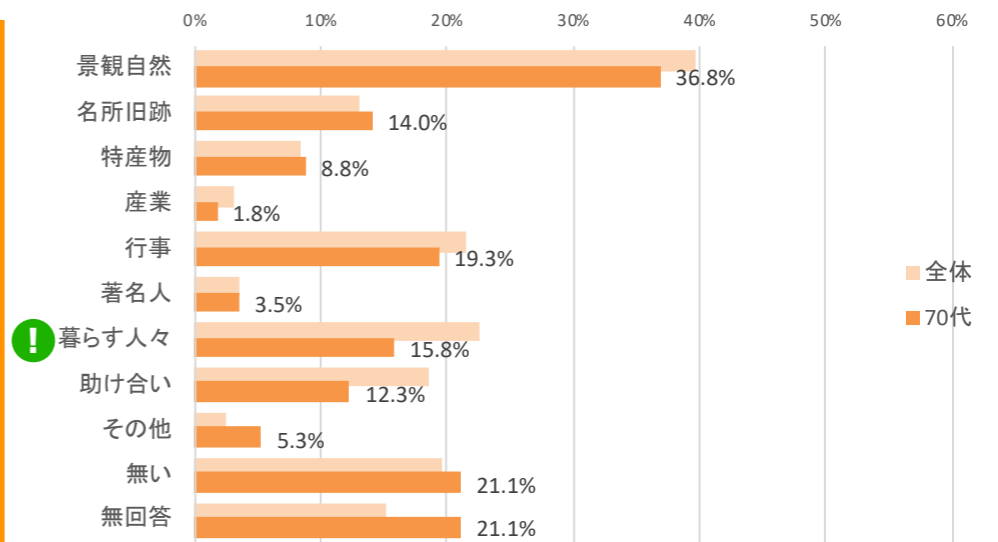
50代



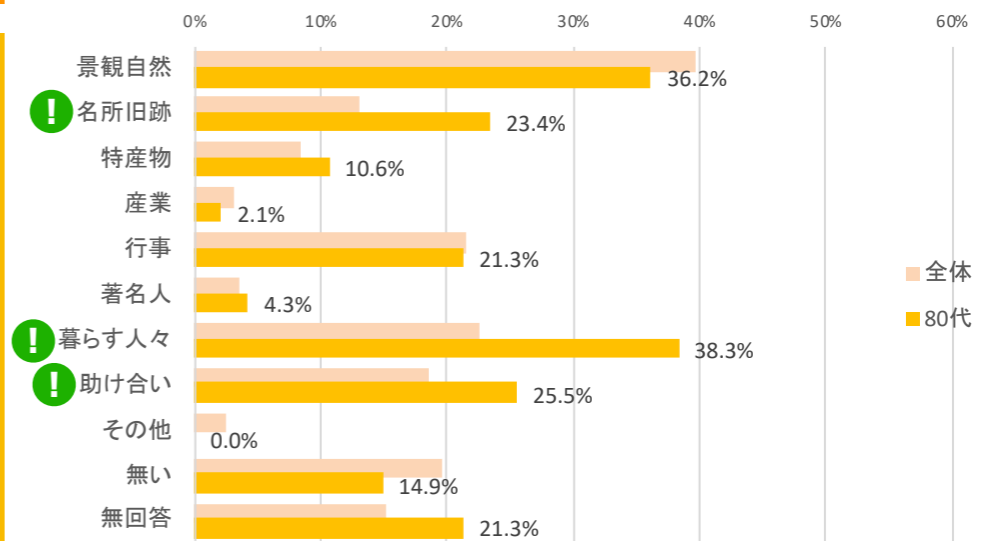
60代



70代



80代

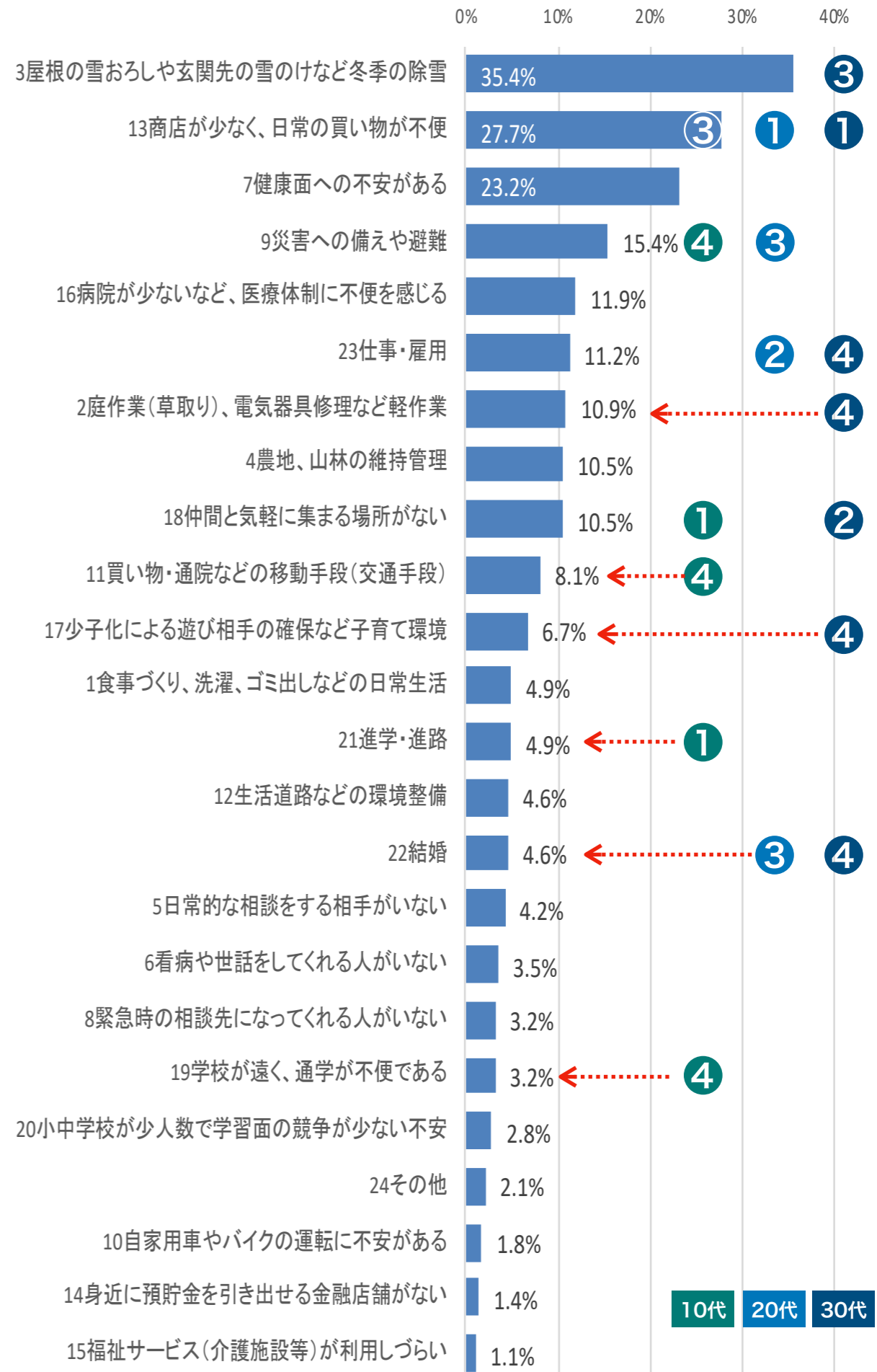


暮らしの中の困りごと (複数回答)

10代		
1	仲間と気軽に集まる場所がない	26.7%
	進学・進路	
3	商店が少なく、日常の買い物が不便	20.0%
4	災害への備えや避難	13.3%
	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	
	学校が遠く、通学が不便である	

20代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	26.7%
2	仕事・雇用	20.0%
3	災害への備えや避難	13.3%
	結婚	

30代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	35.0%
2	仲間と気軽に集まる場所がない	25.0%
3	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	20.0%
4	仕事・雇用	15.0%
	結婚	
	少子化による遊び相手の確保など子育て環境	
	庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業	



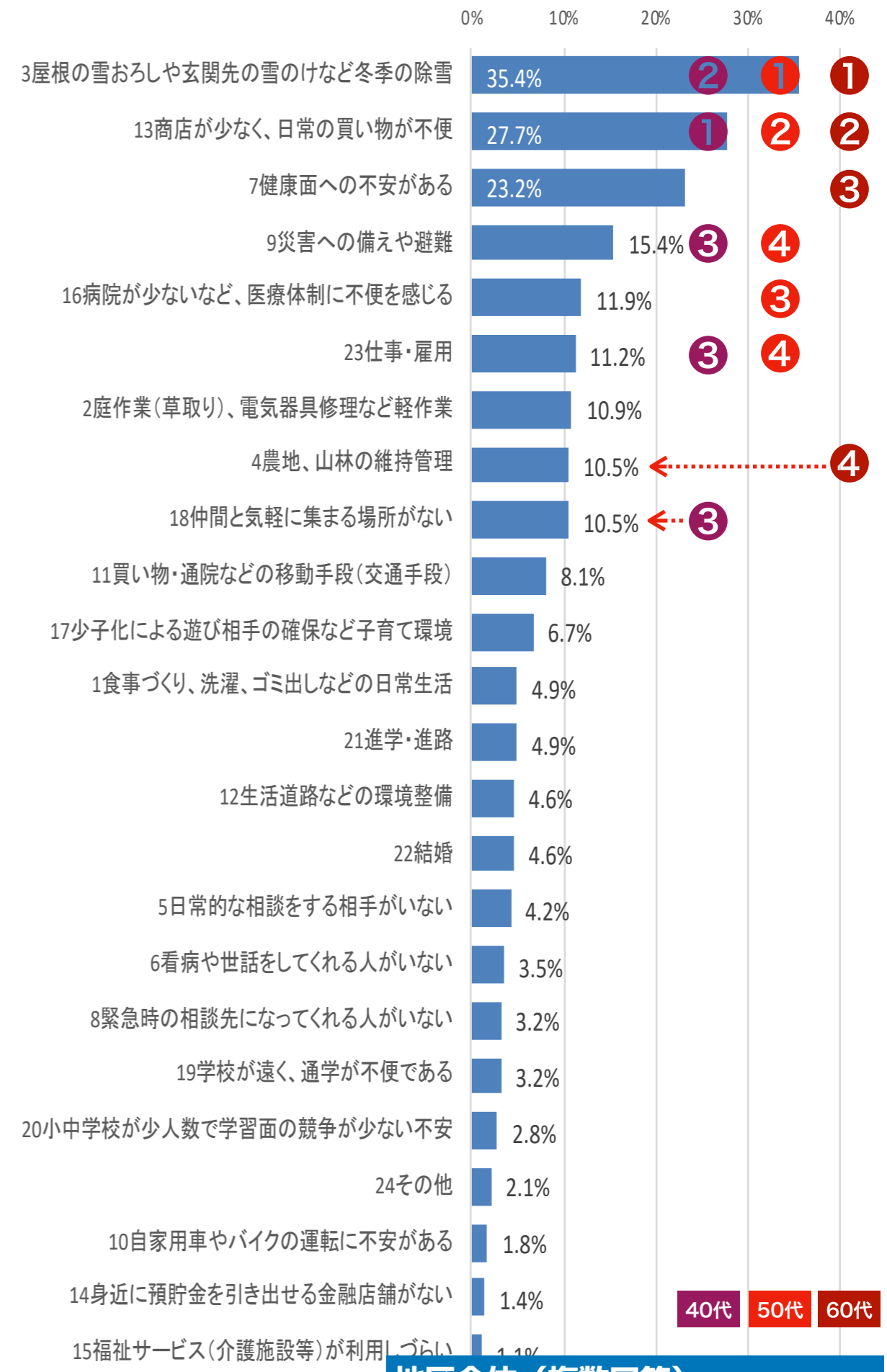
地区全体 (複数回答)

暮らしの中の困りごと (複数回答)

40代		
1	商店が少なく、日常の買い物が不便	31.3%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	21.9%
3	災害への備えや避難	15.6%
	仲間と気軽に集まる場所がない	
	仕事・雇用	

50代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	39.0%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	29.3%
3	病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる	26.8%
4	災害への備えや避難	24.4%
	仕事・雇用	

60代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	41.8%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	27.3%
	健康面への不安がある	
4	農地、山林の維持管理	18.2%



暮らしの中の困りごと (複数回答)

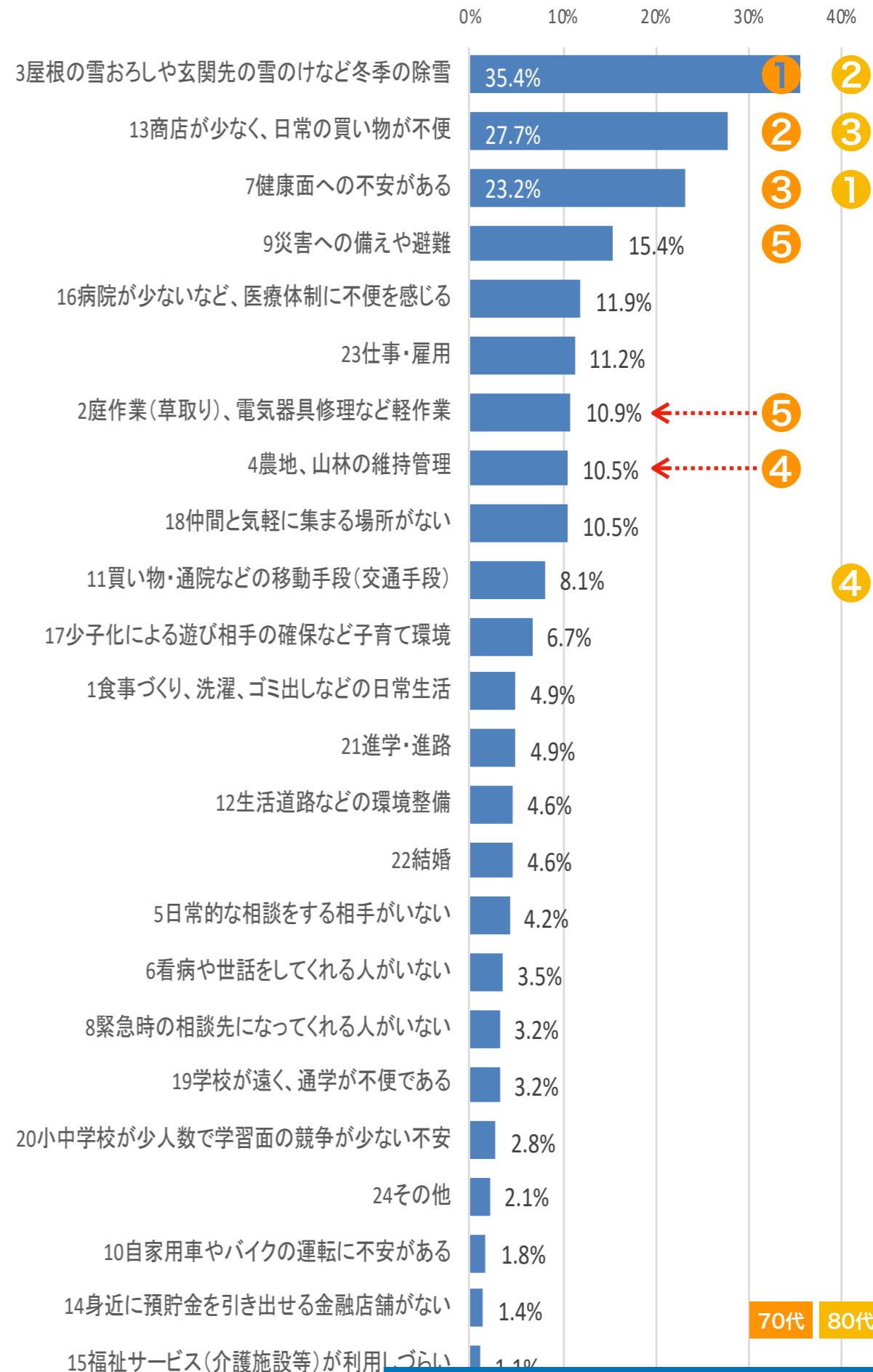
70代

70代		
1	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	49.1%
2	商店が少なく、日常の買い物が不便	24.6%
3	健康面への不安がある	22.8%
4	農地、山林の維持管理	17.5%
5	災害への備えや避難 庭作業(草取り)、電気器具修理など軽作業	15.8%

80代

80代		
1	健康面への不安がある	53.2%
2	屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪	46.8%
3	商店が少なく、日常の買い物が不便	29.8%
4	買い物・通院などの移動手段(交通手段)	21.3%

年代によって不安・困りごとの
順番は違う (人数の少ない若年層は特に)



地区全体 (複数回答)

第1位 屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪 35.4%

大半の世代で上位にランクイン (50~70代ではトップ)

→60代以下は担い手不足への懸念、70代以上は作業自体への不安?

第2位 商店が少なく、日常の買い物が不便 27.7%

すべての世代で上位にランクイン (20~40代はトップ/50~70代は第2位)

第3位 健康面への不安がある 23.2%

60代以上で上位にランクイン (80代はトップ、60代は第2位)

第4位 災害への備えや避難 15.4%

大半の世代で上位にランクイン

第5位 病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる 11.9%

50~60代及び80代で上位にランクイン

暮らしの中の困りごと (まとめ)

関川村上関地区 (2020)

全体での順位は
高くはないが、
高齢世代
特有の困りごと

第7位 庭作業（草取り）、電気器具修理など軽作業 10.9%

【80代】第5位 →日常生活でのちょっとした手助けを求めている現れ!?

第8位 農地、山林の維持管理 10.5%

【60代】第4位 【70代】第4位 →実際に管理している世代は困っている

第10位 買物・通院などの移動手段（交通手段） 8.1%

【80代】第4位 →自らの移動手段で困っている?!

第16位 食事づくり、洗濯、ゴミ出しなどの日常生活 4.2%

【80代】第5位 →日常生活でのちょっとした手助けを求めている現れ!?

第6位 仕事・雇用 11.2%

【20代】第2位 【30代】第4位 【40代】第3位 【50代】第4位

第8位 仲間と気軽に集まる場所がない 10.5%

【10代】第1位 【30代】第2位 【40代】第3位

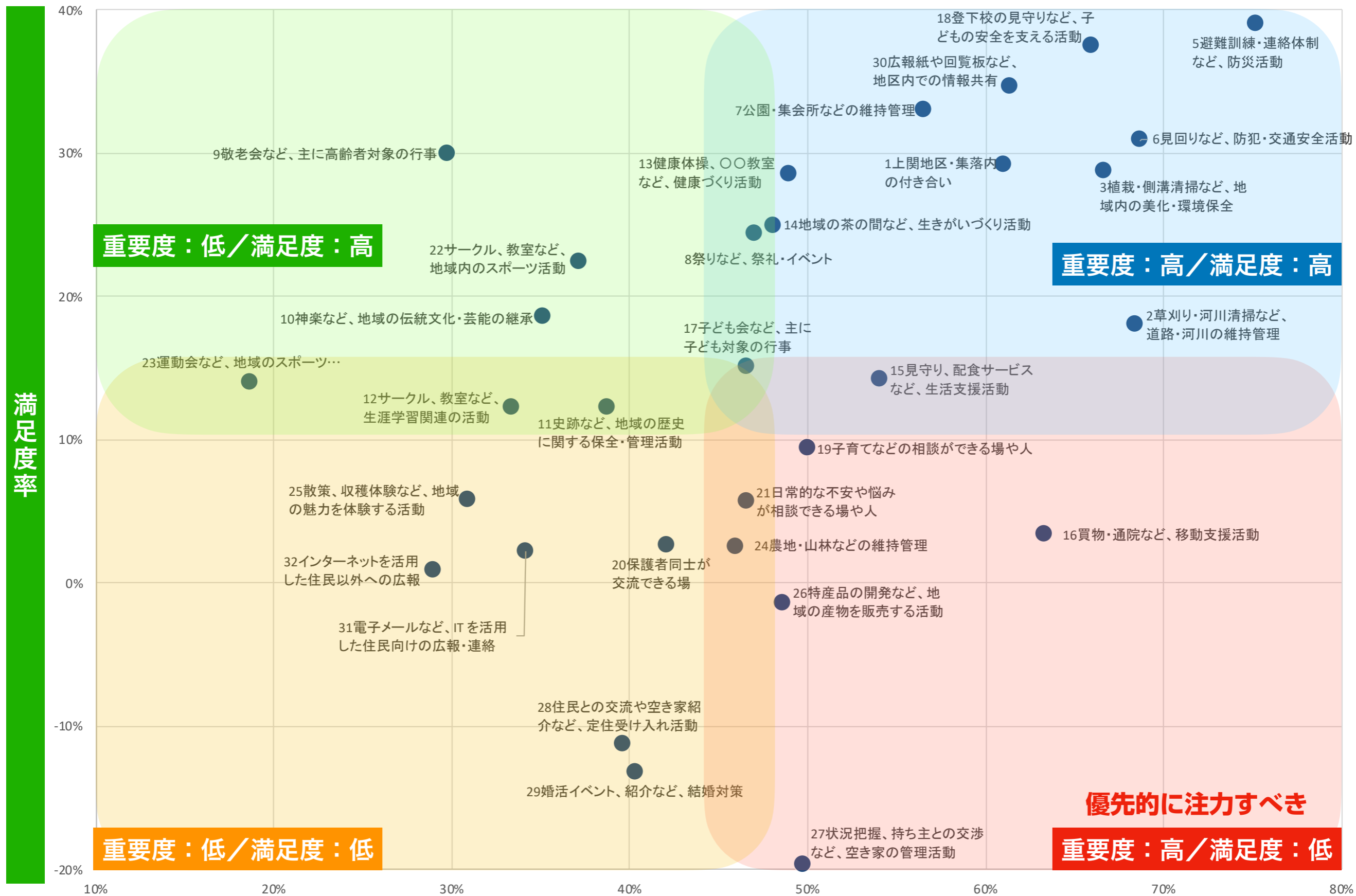
第14位 結婚 4.6%

【20代】第3位 【30代】第4位

全体での順位は
高くはないが、
若年・中堅
世代
特有の困りごと

取り組みの満足度と重要度

関川村上関地区 (2020)

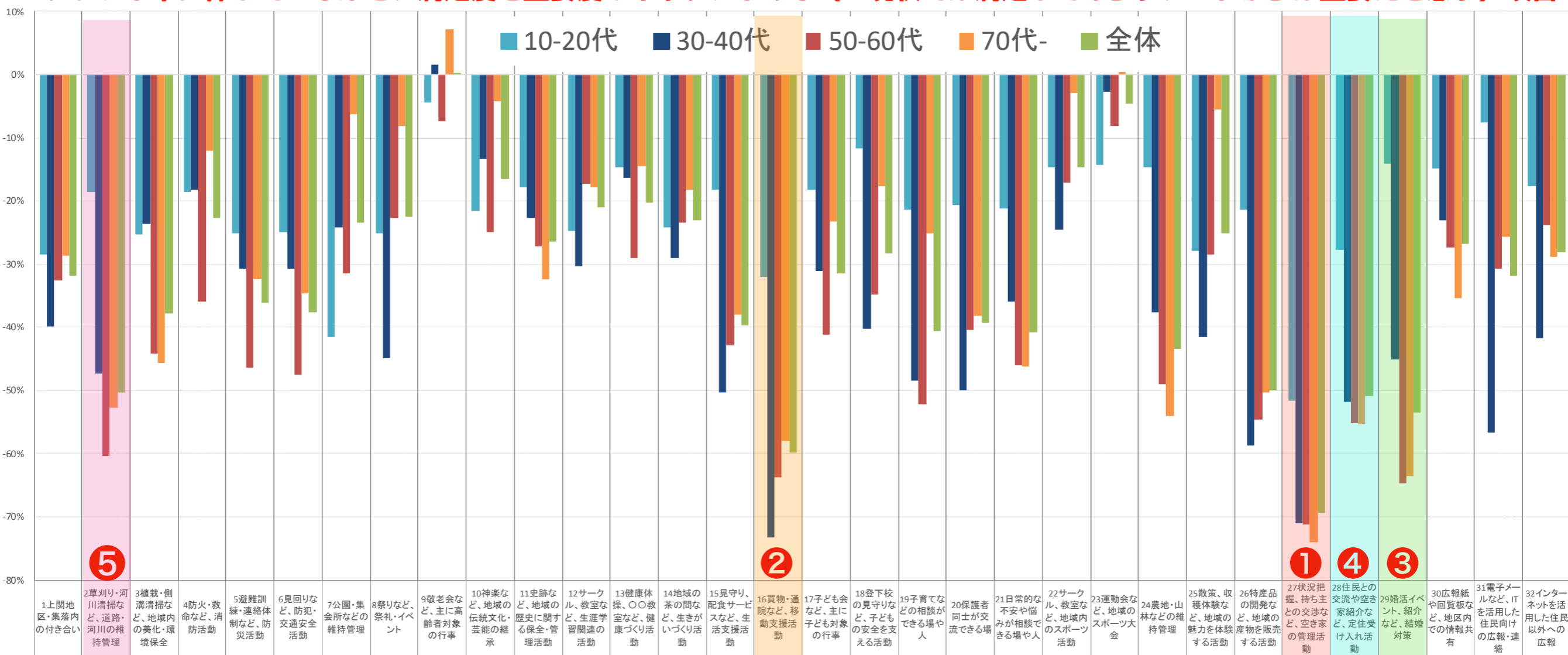


重要度率

取り組みの満足度と重要度の評価（年代別）

関川村上関地区（2020）

※グラフが下に伸びているほど、満足度と重要度のギャップがある（＝現状では満足しておらず、これからは重要だと思う）項目



1 状況把握、持ち主との交渉など**空き家の管理**活動

2 買物・通院など、**移動支援**活動

3 婚活イベント、紹介など、**結婚**対策

4 住民との交流や空き家紹介など、**定住受け入れ**活動

5 草刈り・河川清掃など**道路・河川の維持管理**

若年 > 壮年

若年 < 壮年

若年 < 壮年

◎ 将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている上位5つ

取り組みの満足度と重要度の評価 (年代別)

関川村上関地区 (2020)

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング (上位)

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
1	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -69.4%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -51.6%	16買物・通院など、移動支援活動 -73.2%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -71.3%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -74.0%
2	16買物・通院など、移動支援活動 -59.9%	7公園・集会所などの維持管理 -41.6%	27状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動 -71.1%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -64.8%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -63.5%
3	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -53.4%	16買物・通院など、移動支援活動 -32.0%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -58.7%	16買物・通院など、移動支援活動 -63.8%	16買物・通院など、移動支援活動 -58.0%
4	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -50.8%	1上関地区・集落内の付き合い -28.5%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -56.7%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -60.3%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -55.4%
5	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -50.3%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -27.9%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -51.7%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -55.2%	24農地・山林などの維持管理 -54.0%
6	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -50.0%	28住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動 -27.8%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -50.2%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -54.6%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -52.8%
7	24農地・山林などの維持管理 -43.3%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -25.3%	20保護者同士が交流できる場や人 -50.0%	19子育てなどの相談ができる場や人 -52.2%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -50.3%
8	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -40.8%	8祭りなど、祭礼・イベント -25.2%	19子育てなどの相談ができる場や人 -48.4%	24農地・山林などの維持管理 -49.0%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -46.1%
9	19子育てなどの相談ができる場や人 -40.6%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -25.1%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -47.4%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -47.5%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -45.7%
10	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -39.7%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -24.9%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -45.1%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -46.4%	20保護者同士が交流できる場 -38.2%
11	20保護者同士が交流できる場 -39.3%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -24.7%	8祭りなど、祭礼・イベント -44.9%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -46.1%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -38.0%
12	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -37.9%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -24.1%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -41.7%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -44.2%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -35.4%
13	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -37.6%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -21.6%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -41.6%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -42.9%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -34.6%
14	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -36.2%	19子育てなどの相談ができる場や人 -21.4%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -40.2%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -41.1%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -32.5%
15	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -31.9%	26特産品の開発など、地域の産物を販売する活動 -21.4%	1上関地区・集落内の付き合い -39.9%	20保護者同士が交流できる場 -40.5%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -32.4%
16	1上関地区・集落内の付き合い -31.8%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -21.3%	24農地・山林などの維持管理 -37.6%	4防火・救命など、消防活動 -36.0%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -28.8%

各年代が重視する
テーマの特徴

公園・集会場維持管理
体験活動

特産品開発
IT活用

特産品開発
子育て相談

農地山林の維持管理
日常的な相談

これからの地域づくりで大切だと思っているテーマ・年代別ランキング (下位)

	全体	10-20代	30-40代	50-60代	70代-
17	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -31.4%	20保護者同士が交流できる場 -20.7%	21日常的な不安や悩みが相談できる場や人 -36.0%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -34.8%	1上関地区・集落内の付き合い -28.6%
18	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -28.4%	2草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理 -18.5%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -31.2%	1上関地区・集落内の付き合い -32.6%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -25.7%
19	32インターネットを活用した住民以外への広報 -28.1%	4防火・救命など、消防活動 -18.5%	5避難訓練・連絡体制など、防災活動 -30.7%	7公園・集会所などの維持管理 -31.4%	19子育てなどの相談ができる場や人 -25.1%
20	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -26.7%	15見守り、配食サービスなど、生活支援活動 -18.2%	6見回りなど、防犯・交通安全活動 -30.7%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -30.7%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -23.2%
21	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -26.5%	17子ども会など、主に子ども対象の行事 -18.2%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -30.4%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -29.1%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -18.3%
22	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -25.1%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -17.8%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -29.0%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -28.4%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -17.8%
23	7公園・集会所などの維持管理 -23.5%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -17.7%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -24.6%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -27.3%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -17.6%
24	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -23.0%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -14.8%	7公園・集会所などの維持管理 -24.1%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -27.1%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -14.4%
25	4防火・救命など、消防活動 -22.7%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -14.7%	3植栽・側溝清掃など、地域内の美化・環境保全 -23.6%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -24.9%	4防火・救命など、消防活動 -12.1%
26	8祭りなど、祭礼・イベント -22.6%	24農地・山林などの維持管理 -14.7%	30広報紙や回覧板など、地区内での情報共有 -23.0%	32インターネットを活用した住民以外への広報 -23.9%	8祭りなど、祭礼・イベント -8.2%
27	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -21.1%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -14.7%	11史跡など、地域の歴史に関する保全・管理活動 -22.6%	14地域の茶の間など、生きがいづくり活動 -23.5%	7公園・集会所などの維持管理 -6.3%
28	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -20.3%	23運動会など、地域のスポーツ大会 -14.4%	4防火・救命など、消防活動 -18.2%	8祭りなど、祭礼・イベント -22.6%	25散策、収穫体験など、地域の魅力を体験する活動 -5.4%
29	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -16.4%	29婚活イベント、紹介など、結婚対策 -14.1%	13健康体操、〇〇教室など、健康づくり活動 -16.4%	12サークル、教室など、生涯学習関連の活動 -17.3%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -4.3%
30	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -14.7%	18登下校の見守りなど、子どもの安全を支える活動 -11.7%	10神楽など、地域の伝統文化・芸能の継承 -13.3%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -17.1%	22サークル、教室など、地域内のスポーツ活動 -3.0%
31	23運動会など、地域のスポーツ大会 -4.6%	31電子メールなど、ITを活用した住民向けの広報・連絡 -7.6%	23運動会など、地域のスポーツ大会 -2.8%	23運動会など、地域のスポーツ大会 -8.0%	23運動会など、地域のスポーツ大会 3.8%
32	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 0.2%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -4.4%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 1.6%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 -7.5%	9敬老会など、主に高齢者対象の行事 7.3%

行事・イベント < 地域課題の解決 という意識の現れ?!

◎**将来を見据え、これから重点的に取り組むべきだと考えられている項目上位5つ**

① 状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている。

② 買物・通院など、移動支援活動

大半の年代でこの必要性を強く感じている（特に30～40代）

→送迎される側よりも、送迎している側が切実に求めているのではないか!?

③ 婚活イベント、紹介など、結婚対策

50代以上がこの必要性を強く感じている。

④ 住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動

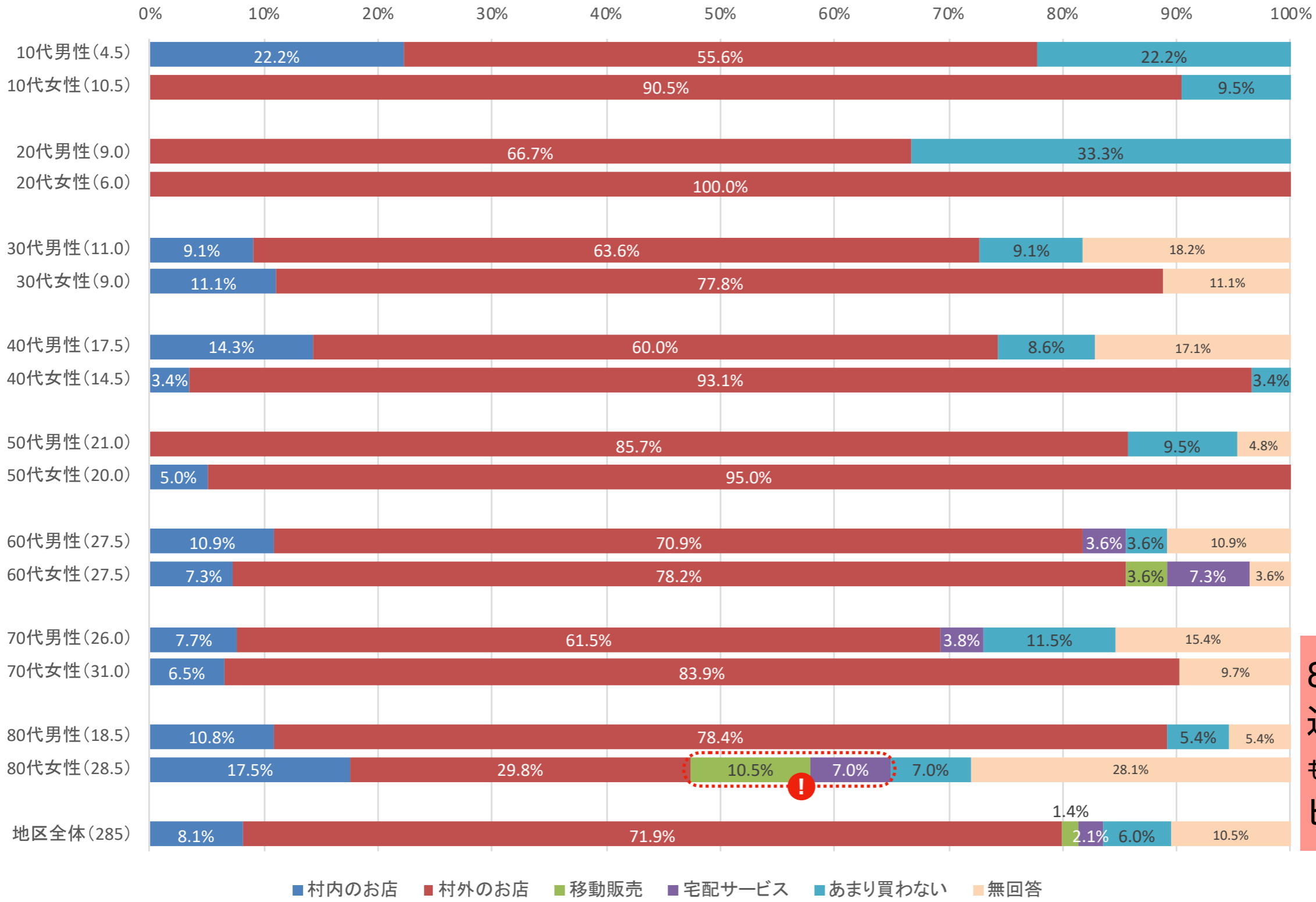
大半の年代でこの必要性を強く感じている。

⑤ 草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理

50代以上がこの必要性を強く感じている。

生鮮食品の購入場所

関川村上関地区 (2020)



80代女性の2割近くが移動販売もしくは宅配サービスを利用している

大半が村外のお店で購入している

☑ 農業従事者の89.7%が60代以上。

将来的な農地の維持管理は大丈夫か？

☑ 80代になると自分で車を運転する人の割合が減少。

- ▶ 日常生活での移動が困難になる人の数は、今後、確実に増加していく。

☑ 買物・通院などの移動支援は、今後の重要なテーマだという認識されている。

- ▶ 30～40代以下がこの必要性を強く感じている。（現在、高齢者を送迎している側が切実に求めている）
- ▶ 大半が車の運転ができるため、「今は困っていない」状況。ただし、車の運転ができなくなると、日々の暮らしに困る人が急増することは確実。

地域の人口構成を勘案すると、移動支援はすぐに着手すべき課題

☑ 全体の半数以上がインターネットを利用

- ▶ 50代以下は大半がスマホでインターネットを利用。

50代以下はスマホ経由での情報伝達の方が効果的？！

☑必ずしも「地域活動に参加していない＝関心が無い」という訳ではないではない。

- ▶ 今は30～70代の頑張り地域活動が回っている。
- ▶ すべての年代で「関心あり＋不参加」が3～6割いる。その理由の第1位は「余裕が無い」。50代以下の8割がこれを理由にあげている。
- ▶ 「関心なし＋付き合いで参加」の理由の第2位は「頼まれた」。

多様な地域活動への関わり方を設けることで参加の可能性があるのでは？

直接対話を通じて、さらに理由を深掘りしていくことが必要。

☑30～50代で土曜日が毎週休日であるのは2～3割。日曜日が毎週休日なのは5割前後という状況。

- ▶ この世代は、必ずしも土日が休日ではない。

この世代の参加を求めらるのであれば、開催日設定の配慮が必要。

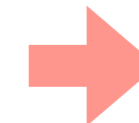
☑近所づきあいについては約6割が「悩みなし」。しかし30～40代は「忙しすぎる」という割合が全体平均よりも高い。

- ▶ 30～50代の会議出席・役員経験は他の世代とほぼ同じ割合。

人は減っているのに、役割・仕事は変わっていないければ、負担感が増すのは当然。

☑**役員世代も中堅世代も、もっと女性・若者の声を反映すべきと思っている。**

- ▶ 30～40代男性は、「声を反映すべき」の割合が6～7割とかなり高い。
- ▶ 60～70代の男性（役員世代）も、6～7割が「必要」と考えている。



お互いにその気はある！声を反映させる機会の充足・工夫が求められている。

☑**地区全体では4割以上が、移住・定住者の受け入れが必要と考えている。**

- ▶ 40代以下は、5割以上が必要と回答している。
- ▶ 50代以上は「わからない」の割合が増え、「必要」という割合は4割前後。



若年層は積極的に受け入れることを望む声が多いが、壮年層はまだ慎重姿勢か？

☑**他地域との交流の必要性については、「わからない」が4割以上。**

- ▶ 10代男性・30代男性は7割以上が必要と回答。
- ▶ 20代男性・50～70代女性は、あまり積極的ではない。



年代によって、かなり意識が異なっている。

☑️地区全体では半数以上が「住み続けたい」と思っているが、40代以下はその割合が地区平均よりもかなり低い。

- ▶ ただし、「わからない」という回答が40代以下は3~8割もある。

☑️地区全体では「自分の子どもにも住み続けてほしい」と回答は1/3。ただし、50代以下は「思わない」の割合がかなり高い！

- ▶ 50代以下の大半で4~6割が「わからない」と回答。
- ▶ 女性は「思わない」の割合の方が高い。

☑️地区全体の半数以上が「地域に愛着がある」と回答。

- ▶ 40代以下の愛着度は低い訳ではない。
- ▶ 「誇りに思う地域資源」については、世代によってかなり異なっている。

親世代の意向が子世代に影響している可能性大。

「わからない」が多いということは、これからの取り組み次第！

愛着があっても定住意向が低いのは、将来への希望・安心感が足りていないことが要因ではないか。

☑暮らしの中の困りごとトップ5は、

- ①屋根の雪おろしや玄関先の雪のけなど冬季の除雪
- ②商店が少なく、日常の買い物が不便
- ③健康面への不安
- ④災害への備えや避難
- ⑤病院が少ないなど、医療体制に不便を感じる



☑今後、重点的に取り組むべきテーマトップ5は、

- ①状況把握、持ち主との交渉など、空き家の管理活動
- ②買物・通院など、移動支援活動
- ③婚活イベント、紹介など、結婚対策
- ④住民との交流や空き家紹介など、定住受け入れ活動
- ⑤草刈り・河川清掃など、道路・河川の維持管理



困りごとの内容をさらに深掘りしていくことが必要。

ただし、世代によって上位にランキングされている内容はかなり異なる。（特に若年層）若年層は少数派であることを十分に認識し、丁寧に扱うことが求められる。